

(2) 輸入ノ原料品ヲ用ヒテ、一定ノ輸出品ヲ製造スル場合。例ヘハ硝子ヲ用ヒテ硝子鏡ヲ造リ、羅紗ヲ輸入シテ衣服ヲ造リ、是等ヲ輸出スル場合ニハ輸入税ヲ拂戻シ(戻税)、砂糖ヲ精製シ、或ハ氷砂糖ヲ造リ、荏胡麻子ヨリ其油ヲ搾リテ、之ヲ輸出スルトキハ、其輸入税ノ全部又ハ一部ヲ免除スルカ如シ(一部ヲ免除スル場合ハ、例ヘハ荏胡麻子ノ輸入税ハ百斤五十錢ニシテ、其油ノ免稅率ハ百斤ニ付キ三十九錢ナルカ、其糟ハ輸出ト否トヲ問ハス百斤十一錢ヲ免除セラルルカ爲メナリ)。

(3) 輸入原料品ヲ用ヒテ或種ノ貨物ヲ製造シ内地消費ト否トヲ問ハス免稅セラル、場合。例ヘハ船舶建造又ハ修繕ノ爲メ鐵鋼材、艤裝品、機關等ヲ使用シ、落花生ヨリ其油ヲ搾リ、大豆、胡麻、菜子等ヨリ得タル油糟ノ如シ。

(2)(3) 共免稅ノ場合ニハ、其製造ハ稅務官署ノ承認ヲ受ケタル製造場ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス、(2)(3) 共認可ヲ受ケタル場合ノ外、輸入原料ト同種類ノ原料品ヲ使用スルコトヲ得ス。

(4) 保稅工場制度 ハ前記(1)(2)ト共ニ加工再輸出ヲ獎勵センカ爲メニ設ケラレタル制度ニシテ、更ニ營業者ノ便利ヲ圖リタルモノナリ。

(三) 外國ノ保稅工場 嘗テ倉庫ノ種類ノ部ニ於テ述ヘタルカ如ク、歐米ニ於ケル保稅製造ノ制度ハ廣義ノ保稅倉庫ノ一種ニシテ、次ノ如ク區々ナリトス。

(1) 米國……保稅倉庫ノ中ノ第六種及第七種ハ我邦ノ保稅工場ニ當ルモ、孰レモ私設ニシテ、(第六種)ノ中ニハ(一)專ラ輸出

ヲ目的トシ、製品ノ全部又ハ一部ヲ輸入原料品、若クハ内國消費稅品ヨリ成ル場合ト、(二)内地消費又ハ輸出ヲ目的トシ、全部一國ヨリ輸入シタル原料其ヨリ成ル葉卷煙草ノ製造ト、(三)專ラ輸出ノ目的ヲ以テ輸入米ヲ貯藏シ又ハ精白スル場合トノ三種アリ、(第七種)ハ輸出又ハ内地消費ノ爲メニ、輸入シタル礦物又ハ粗金屬ヲ熔解シ且ツ精煉スルコトヲ目的トス。前種ノ倉庫ヲ設ケルニ當テハ、工場主ハ大藏大臣ニ對シ(一)製造セントスル貨物ノ種類、名稱(輸出及商業上ノ)(二)材料ノ名稱、數量(三)有稅材料ノ名稱、數量等ヲ届出テ(四)證書ト共ニ差出シタル方法(Formula)ヲ遵守スルヲ要ス、(五)有稅材料ハ他ノ室ト區別シテ藏置シ、製成品モ亦斯クスルヲ要ス。

- (2) 獨逸……官設保稅倉庫ノ中自由倉庫ハ固ヨリ加工ヲ行フコトヲ得ルモ、其他ハ普通許サ、ルカ如シ、私設倉庫ハ之ヲ認許ス。
- (3) 佛蘭西……私設保稅倉庫ハ煉炭ノ製造、大理石ノ加工、「マルセーユ」ニ於ケル製油ノ外加工ヲ許サス、單ニ貨物ノ損收ヲ防ク程度ノ手入ヲ許スノミ、公設保稅倉庫モ葡萄酒ノ外混合ヲ許スモ、其他ノ手入ハ貨物ノ重量ヲ變化セシメサル程度ニ止ム。
- (4) 英國……保稅倉庫ハ私設ニシテ、手入、酒類ノ混合ハ之ヲ認ムルモ、加工ハ許サ、ルカ如シ。
- (5) 白耳義及瑞西……保稅倉庫ハ條件附ニテ改裝、混合ヲ許スモ、加工ハ許サ、ルモノ、如シ、但シ庫入貨物ヲ一時加工ノ爲メ庫出シ、加工ノ上再ヒ庫入スルコトヲ認メ居レリ。瑞西モ亦原則トシテ貨物ノ保存ニ必要ナル程度以上ノ手入ヲ許サス。

(四) 内國貨物ノ利用及藏置 保稅工場ヲ認許スル目的ハ、前記ノ如ク輸入品ニ加工シ、若クハ製造シテ輸出セシムルニ在ルヲ以テ、内國貨物ヲ使用セシムルハ、畢竟例外的ノ便宜方法ニ過キサルモノトス、今其場合ヲ考フルニ、次ノ如シ。

- (a) 外國貨物ニ加工シ又ハ之ヲ原料トシテ製造スル爲メ、内國貨物ヲ使用スル場合。此場合ニハ斯クテ製造シタル貨物ハ外國貨物トシ、之ヲ輸入セントスルトキハ輸入税ヲ徵收セラル、モノトス。
- (b) 内國貨物ヲ保稅工場ニ入レ、輸入原料ヲ加ヘテ加工又ハ製造スル場合。ハ、主タル原料カ内國貨物ナル外、(a)ノ場合ト異ナラス。

(c) 内國貨物ノミヲ用ヒテ加工又ハ製造ヲ行フ場合。ハ普通其必要ナク、又此制度ノ目的外ナルモ、例ヘハ製造品ノ輸出ヲ目的トシテ此種ノ工場ヲ設ケタル場合、海外ノ市場有利ナラサルトキハ、一時閉鎖スルノ已ムヲ得サル場合ナキニアラス、當業者ノ不利少カラサルヲ以テ、斯ル場合ニ於テモ尙ホ工場ノ作業ヲ繼續セシメンカ爲メニ許シタル規定ニ過キス、從テ「保税」ノ意義ナキ筈ナレトモ、大體上税關ノ監督ノ下ニ置カル、モノトス、内國貨物ノ加工又ハ製造ノ範圍ハ税關長ノ許可シタル範圍内ニ限ル、内國貨物ヲ工場ヨリ引取ルモ、輸入税ヲ課セサルハ言フ俟タス。

保税工場ニ於テ如何ナル種類ノ貨物ニ對シ、如何ナル作業ヲ許スヤハ税關長ニ於テ之ヲ定メ、私設ノモノニ在リテハ特許ヲ與フル際之ヲ定メ、且ツ變更ノ都度認許ヲ受クヘキモノトス、但シ他人ノ貨物ニテモ藏置シ得ルモノトス。

(五) 課税標準 保税工場ヨリ外國貨物(外國ノ原料ヲ用ヒタルモノ、並ニ内外ノ原料ヲ用ヒタルモノ)ヲ輸入セントスルトキハ、其輸入税ハ輸入ノ時ノ性質及數量ニ依リテ徵收セラル、モ、其貨物カ特ニ指定シタルモノニテ、工場主カ作業ノ際、其原料ニ付キ税關ノ検査ヲ受ケタルトキハ検査ノ時ノ原料ノ性質及數量ニ依リテ算出シ、之ニ對シ利子ニ相當スル金額(検査ノ日ヨリ輸入申告ノ日ニ至ルマテ、年六分ノ割合ニテ算出シタル金額)ヲ加ヘタル金額ヲ輸入税トシテ徵收スルモノトス。

〔検査ノ時ノ原料ノ性質及數量ニ依リ輸入税ヲ課セラル、貨物ハ(一)亞鉛鐵板、(二)鐵ノ釘又ハ線、(三)銅又ハ眞鍮ノ釘又ハ線、(四)玻璃鐵器、(五)葉鐵製機(鑄造用ノモノ)トス。C. I. T. 110定〕

保税工場ヨリ内地ヘ製品ヲ引取ル場合、製品トシテ輸入税ヲ課ストキハ、如何ナル結果ヲ生スル

ヤト云フニ、製品ノ輸入税ハ普通原料ノ輸入税ヨリ高キヲ以テ、原料ノマ、輸入シテ製造スル者ニ比シ、不利益ノ地位ニ立ツコト、爲ルヘシ、例ヘハ小麥ヲ米國又ハ加奈陀ヨリ輸入シ、保税工場内ニ於テ製粉シ、其小麥粉ノ全部ヲ輸出スルトキハ、何等納税ノ必要ナキモ、之ヲ内地ヘ輸入スルトキハ、小麥粉トシテノ輸入税(百斤ニ付二圓九十錢)ヲ納附セサルヘカラス、然ルニ若シ原料ノ小麥ヲ普通ノ方法ニ依リテ輸入スルトキハ、百斤ニ付一圓五拾錢ノ輸入税ヲ納ムレハ可ナルヲ以テ $22.90 \times (100 - \text{稅率}) + 100 - 21.50 = \text{タケ有利ノ地位ニ立ツモノトス}$ 、保税工場ハ元來加工再輸出ノ利益ヲ與ヘンカ爲メニ設ケタル制度ナレハ、工場ヨリ内地ヘノ輸入者カ不利益ヲ蒙ルモ、已ムヲ得サルノ理ニテ、之カ爲メ輸出促進ノ利益ヲ擧ケ、且ツ若シ其製品カ内地ニ競争品ヲ有スルトキハ、保護關稅ノ效力ヲ減殺スルノ虞ナキヲ得ヘシ、唯海外ノ市況不利ト爲ルカ、輸出検査ノ規格ニ合格セサル場合アルトキハ、已ムヲ得ス不利ヲ忍ビテモ内地ヘ輸入スルノ必要アリ、改正法ノ精神ハ斯ル場合ニ於テ製造業者ニ便宜ヲ與ヘ、且ツ一方ニ於テ内國貨物ヲ使用シテ製造シタル貨物ニ對シテモ、亦此種ノ利益ヲ與ヘントスルニ在リ、即チ内外原料ノ混作品ハ、外國貨物ト看做サル、モ、外國原料品ニ原料課税ヲ許セハ、内國原料品ハ自カラ内國貨物タル本來ノ性質ニ戻リ、無税ト認ムヘキ筈ナレハ也、然レトモ此點ハ法規上疑ナキニアラス、例ヘハ内地製ノ鋼材ヲ保税工場ニ入レテ、外國ノ原料ト混用シ機械ヲ製造シタルモノトセハ、其機械ハ外國貨物ト爲ルヲ以テ(法第三條後段)内地ノ鋼材モ亦外國性ヲ帶ヒ、從テ原料課税トスルモ、鋼ノ輸

入税ヲ課スヘキモノト解セラレサルニアラス、然レトモ外國原料ヲ内地ヘ輸入シ、内地ニ於テ製造スル者ト權衡ヲ得セシメントスル法ノ精神ヨリ觀レハ、内地品ハ無税トスル趣旨ナリト考ヘラル。然レトモ原料課税ト爲ストキハ、製品ノ種類ニ依リテハ、前述ノ如ク保護關稅ノ效力ヲ薄弱ナラシムル場合之アルヘキヲ以テ、工場主カ内地輸入ヲ目的トシテ保稅工場ヲ利用スルトキハ、多クハ製品ニ高率ノ保護關稅アル場合ナルヘシ。政府ノ方針ハ斯ル種類ノモノハ認許セサルコト、爲スト云フ、然レトモ商品ノ種類ニ依リテ許否ヲ決スルカ、又ハ同一商品ニテモ、原料課稅ヲ許スモノト許サ、ルモノトヲ區別スルカ、此點明カナラス、而シテ右ノ如ク原料課稅トスルトキハ、輸入税ハ製品輸入ノ際ニ徵收セラル、ヲ以テ、原料ヲ内地ヘ輸入シテ製造スル者ニ比シ、或期間ノ利子タケ却テ有利ノ地位ニ立チ、此制度ノ趣旨ニ反スルコト、爲ルヲ以テ、前述ノ如ク相當ノ利子ヲ附加スルコト、爲セリ。

外國ノ原料ヲ用ヒテ製造シ、之ヲ内地ニ輸入セントスル者ハ、普通ノ工場ニ於テ行ヒ、故ラニ保稅工場ヲ利用スルノ必要ナク、又一部ヲ輸出シ一部ヲ内地消費ニ向ケントスル者ハ、工場ノ一部ヲ割シテ保稅工場ト爲サハ可ナルヲ以テ、原料課稅ノ必要ハ極メテ稀ナルノ理ナリ、然ルニ前記ノ如キ類雜ナル規定ヲ設ケテ當業者ノ或者ノ利益ヲ圖ラントスルハ、寔ニ謂レナシト謂ハサルヘカラス、但シ保護關稅ヲ緩和スルノ效益ハ之レアルヘキモ、是亦一般的ニ亘ラス不公平ニ陥ルノ缺點アルヘシ。

(六) 藏置期間　ハ從來六箇月トシ、特別ノ事由アル場合ニ於テ、稅關長ニ申請シテ延期ヲ求ムルコトヲ得ヘキモノトシ、内國貨物ノ藏置期間ハ稅關長之ヲ指定スルコト、爲セシカ、改正法ハ工程ノ複雑ナルモノニ就テハ短キニ過クルモノト認メ、移入許可ノ日ヨリ一箇年トシ、特別ノ事由アリテ延期ヲ申請シタル場合ハ、更ニ一箇年ヲ限り之ヲ許スコト、爲セリ、是亦當業者ノ便宜ヲ圖リタルモノナリト云フ、是等モ官設ト私設トニ依リテ區別シ、私設ナルトキハ一層延長シテ原則二年猶豫二年位ト爲スモ可ナリト信ス、而シテ各種ノ材料ヲ工場ニ移入シタルトキハ、孰レニ據ルヘキヤト云フニ、從來ノ慣例ハ最後ノ貨物ヲ移入シタル時ヨリ起算シ居レリト云フ。

(七) 官設ト私設　保稅工場ニモ亦官設、私設ノ別アリト雖モ、官設ノモノハ主トシテ改裝、仕分其他ノ手入ヲ爲サシムルヲ目的トシ、加工製造ハ多ク私設ノ工場ニ於テ行ハル、カ如シ、官設保稅工場ノ設備アルハ横濱、神戸及長崎ノ三箇所ニ過キス、其中混合、加工若クハ製造ヲ行フハ神戸稅關川崎波止場(米ノ混合)、長崎市末廣町及羽衣町(硝子ノ砂磨及鍍銀、菓子、石鹼及靴ノ製造、一定ノ内國貨物ヲ原料トスル石鹼ノ製造、タルク防水紙、防水布、インキノ製造等)僅々二、三箇所ニ過キサリシカ、是等モ戰時ノ必要ニ迫ラレテ行ヒタルモノニ過キスシテ、加工製造ハ其後行ハレサルカ如シ、明治三十三年始メテ此制度ヲ設ケタルトキハ、官設ノミニ限り、私設ヲ認メサリシカ、同四十五年ノ改正ニ於テ私設ヲ許シタルニ、現在ハ大部分私設ニ屬シ、且ツ漸次増加スルモノ、如シ。(次表ハ大正九年九月一日現在也)

保税工場坪數表

官 設	官 設		私 設		計	
	箇 所	坪 數	箇 所	坪 數		
横濱	一	二、一二二	二五	一〇一、八一	二六	一〇三、九三三
神戶	一	四、五五三	二〇	一九八、八七七	二一	二〇三、四三〇
大阪	一	九、三三八	一七	一八、八五三	一七	一八、八五三
長崎	一		二	六八八	三	一〇、〇二六
門司			六	八、一七八	六	八、一七八
函館	三	一六、〇一三	七二	三三一、〇五六	七五	三四七、〇六九

三八四

(八)特許及監督 私設保税工場ヲ設置セントスル者ハ、總テ税關長ノ特許ヲ得ヘキ定メニシテ、其特許ヲ受ケントスル者ハ其地區ノ位置、面積、建設物ノ構造、棟數、坪數、作業ノ種類及其作

- 〔備考〕私設保税工場ノ内加工製造ヲ爲スモノ五十五箇所アリ、其ノ作業別左ノ如シ
- 榨油 二二 製靴 三 ゴムタイヤ 一 製糖 三 金屬製煉 一 製菓 六 醬油醸造
 - 一 鐵工 一 精米 一 漬物製造 一 屠場 四 製粉 二 造船 七 揮發油混合 一 石鹼又ハ
 - 蠟燭製造 五 珈琲製造 一 貝卸製造 一 酒類ノ混成 三 麻袋製造 一 穀物混成 四 布帛ノ加工

業ニ使用スヘキ貨物ノ種類並ニ特許年限ヲ記シタル書面ニ、地區、工場及附近ノ圖面ヲ添附シ、所轄税關長ニ出願スヘシ、出願人會社ナルトキハ、仍ホ其會社ノ登記簿本及定款ノ謄本ヲ添附スルヲ要ス、保税工場ハ多ク工場主自ラ使用センカ爲メニ利用スルモノナレト、若シ他人ヲシテ使用セシムヘキ私設工場設置ノ特許ヲ得ントスルトキハ、特許出願ト同時ニ、使用規則及使用料ノ認可ヲ申請スヘキモノトス、而シテ内國貨物ノ加工、之ヲ原料トスル製造ノ認許ヲ受ケントスル者ハ、貨物及作業ノ種類ヲ記シタル文書ヲ以テ税關ニ出願スヘキモノトス、特許期間ハ二十年ナレトモ、申請ニ依リ延長セラル、コトアルヘシ。

特許手數料ハ毎月特許ノ日ニ應當スル日ニ於テ之ヲ納附スヘキモノニシテ、派出ヲ要スル税關官吏一人毎ニ七拾圓トス(大正九年七月定)。

保税工場特許ノ一例 昭和二年五月五日、森永製菓株式會社

- (一)保税工場ノ位置及面積………神奈川県横濱市、下末吉町一、〇九五番地、五二〇坪
- (二)棟數及坪數………一棟、五二〇坪
- (三)藏置スヘキ貨物ノ種類
- (イ)外國貨物………砂糖、小麥粉、水飴、「コンダンス、ミルク」、「バター」等二十一種
- (ロ)内國貨物………前記ノ外牛乳、食鹽外一種
- (四)作業ノ種類 (イ)外國貨物タル菓子ノ製造 (ロ)内國貨物タル菓子ノ製造
- (五)期限………昭和二十二年五月三日マテ

私設保税工場ノ取締ハ、保税倉庫ノ如ク擔保ノ提供ヲ要セサルモ、種々現實的ノ監督ヲ受クルモ

ノトス、即チ(一)所有者ハ税關ノ指揮監督ヲ仰クコト(二)貨物ノ移入、移出ハ税關ノ許可ヲ受ケ加工製造ハ其承認ヲ受クルコト(三)外國貨物ト内國貨物トハ之ヲ區別シ、又作業ノ際検査ヲ受ケタル貨物ト、否ラサルモノトハ、税關官吏ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外、之ヲ區別シテ藏置スルコト(四)他人ヲシテ使用セシムル保税工場ノ使用規則及使用料ハ税關長ノ認可ヲ受クルコト(五)監督ノ必要上貨物又ハ帳簿ヲ検査シ得ルコト、又取締上必要アリト認ムルトキハ、工場出入者ノ身邊搜索ヲモ爲シ得ルコト(六)特許ノ消滅事由ニ五項目アルコト(七)消滅後ノ貨物處分其他ノ責任(八)特許取消事由ニ三項目アルコト(九)二重ノ鎖鑰ヲ設ケ、其一個ヲ税關ニ於テ保管スルコト等、大體保税倉庫ノ場合ニ準スル定メニシテ、其他(十)貨物ノ検査監督上相當ノ設備ヲ爲スコト(十一)構内出入ノ雇人及人夫ニ付相當ノ取締ヲ爲スコト(十二)移入、手入、加工、製造、副産物、移出シタル貨物等ニ付キ、所定ノ事項ヲ帳簿ニ記載スルコト等ノ規定アリ、税關ノ許可シタル範圍ヲ超ヘテ内國貨物ニ加工シ、又ハ之ヲ原料トシテ製造シ、或ハ税關長ノ定メサル作業ヲ行ヒ、或ハ許可シタル貨物以外ノモノヲ用ヒタルトキハ、三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ、其他種々ノ場合ニ於ケル制裁アリ、工場主、又ハ輸出入商ノ代理人若クハ使用人カ業務ニ關シ處罰セラルヘキトキハ、例外ノ場合ノ外、本人ヲ處罰スルノ規定アリトス。

(九)貨物移入手續及收容 凡ソ保税工場へ貨物ヲ移入シ、之ヲ内地へ輸入シ、外國へ積戻シ、運送シ、保税倉庫へ庫入シ、若クハ之ヲ移出セントスルトキハ、其都度税關ノ免許ヲ要スル定メニ

シテ相當ノ申告書(例へハ「外國貨物移入申告書」)ニ所定ノ事項、例へハ

- (甲)外國貨物移入申告書 積載船名、船舶國籍、船舶入港年月日、船荷證券番號、貨物ノ記號及番號、包装ノ種類及箇數、品名、數量、價格、立方尺又ハ斤量、移入ノ目的、藏置場所、申告者ノ氏名、捺印、住所、申告年月日。
- (乙)内國貨物ノ移入申告書 貨物ノ記號及番號、包装ノ種類及箇數、品名、數量、價格、立方尺又ハ斤量、移入ノ目的、藏置場所、申告者ノ氏名、捺印、住所、申告年月日。
- (丙)保税工場貨物作業申告書 ハ(一)作業ヲ爲スヘキ貨物ト(二)作業ニ使用スヘキ貨物トノ二部ニ分チ、各部トモ移入申告番號、記號及番號、包装ノ種類及箇數、品名(外國貨物ト内國貨物トニ分ツ)、作業ノ種類、使用ノ目的ヲ記入シ、之ニ申告者ノ氏名捺印、住所、申告年月日ヲ加フ。

ヲ記入シテ税關ニ届出ツヘシ、又改装、仕分其他ノ手入、若クハ加工、製造ノ場合ニハ、前記ノ如キ作業ノ申告書ニ記入届出ヲ爲シ、手入濟又ハ製成ノ上ハ、更ニ其旨ヲ届出テ検査ヲ受ケサルヘカラス。

特別ノ事由アリテ貨物ノ藏置期間ヲ延長セントスルトキハ、移入許可年月日、其番號、貨物ノ記號及番號、包装ノ種類及箇數、品名、數量、價格、延長スヘキ期間及事由ヲ記シタル「藏置期間延長申請書」ヲ税關ニ差出シテ其許可ヲ受クヘシ、又保税工場ノ取締上若クハ貨物ノ整理上必要ト認ムルトキハ、税關長ハ貨物ノ作業ノ停止、又ハ移出ヲ命ジ、其他必要ノ處分ヲ爲スコトアルヘキヲ以テ貨物カ藏置期間ヲ經過シタルモ、前記ノ手續ヲ爲サ、ルカ、移出ヲ命セラレテ指定期間内ニ移出ヲ爲サ、ルトキハ、税關ハ其貨物ヲ收容スルコト、保税倉庫ノ場合ニ同シ(保税工場法第十條)、而シテ斯ル場合ノ費用及危険ハ税關ニ於テ之ヲ負擔セサルノミナラス、官設保税工場内ノ損害ハ政

府其責ニ任セサルモノトス。(改正法ニハ明文之ナキモ)

(十)預證券 官設保税工場ニ在ツテハ、保税倉庫法ノ如キ明文ナキヲ以テ、預證券ヲ發行シ得ス私設工場ニ於テ他人ヲシテ使用セシムルトキハ之ヲ發行シ得ルヤト云フニ、他人ノ貨物ヲ保管スルハ保税倉庫ノ目的トスル所ニシテ、保税工場ノ目的ニアラス、殊ニ保税工場ニ在ツテハ、他人ヲシテ使用セシムルコトアルニ止ルヲ以テ、假令保管規則ニ於テ定ムルモ、發行シ得サルモノトスルヲ妥當トス、實際ニ於テ禁流通ノ保管證書ヲ發行スル場合アリト云ヘト、這ハ固ヨリ貨物代表證券ニハアラサルナリ。

(十一)使用料 官設保税工場ニハ所定ノ使用料アリ、他人ヲシテ使用セシムル私設保税工場ハ税關長ノ認許ヲ受ケテ之ヲ定ムヘキモノトス。

官設保税工場使用料 (一)重量ニ依リ輸入税ヲ賦課スル貨物ハ、五十斤毎ニ一箇月金二錢(二)其他ハ一立方尺迄毎ニ一箇月金二錢、(三)土地又ハ建物ヲ専用スルトキハ、一坪迄毎ニ一箇月金貳圓ノ定メナルモ、徵收ノ便宜上(一)及(二)ノ率ハ相互之ヲ轉用スルコトアリ、又保税工場ノ狀況其他ノ事情ニ依リ、特ニ必要アルトキハ、(三)ノ使用料ヲ一坪一箇月金二圓以下ニ低下スルコトヲ得ヘシ、而シテ一箇月未滿ノ使用料ハ、十五日迄ハ半月分ヲ、十五日ヲ超ユルトキハ、一月分ヲ徵收シ、其納付ノ時期ハ(一)(二)ハ貨物移出ノトキ、(三)ハ一月毎ニ前納スヘキ規定ナリトス。

(十二)保税工場ノ利用 保税工場ヲ利用スル貨物ハ、次表ノ如ク主トシテ外國貨物ニシテ、其本來ノ目的タル加工製造ノ上外國へ積戻スモノ多キヲ占ム、大正十四年ノ金額カ九年ニ比シテ激減シタル一ツノ理由ハ物價低落ニ在ルモ、加工貿易不振ノ爲メ、利用ノ減少セシコトカ、重ナル原

因ナルハ言フマテモナシ。

保税工場貨物出入表 (千圓未満四捨五入)

移入	外國貨物		內國貨物		合計
	貨物	貨物	積戻	其他	
九年	11,517.0	1,747.0	7,131.1	3,685.9	12,264.0
十四年	3,350.0	1,787.7	4,686.8	7,753.3	11,136.8
移入	合計		加工製造品	其他	合計
			積戻	其他	
			輸入	其他	
			其他	其他	
			輸出	其他	
			内地	其他	
			取引	其他	

(移出入品中主ナルモノハ、(一)穀物穀粉及種子、(二)油脂蠟及同製品、(三)鐵及金屬、(四)飲食物及煙草、(五)時計學術品及機械類(六)金屬製品等ナリ)

第九章 參考法規及參考書

第一 商 法 (抄錄)

第三編 商 行 爲

第九章 寄 託

第二節 倉庫營業

第九章 參考法規及參考書 法

第三百五十七條 倉庫營業者トハ他人ノ爲メニ物品ヲ倉庫ニ保管スルヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百五十八條 倉庫營業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ寄託物ノ預證券及ヒ質入證券ヲ交付スルコトヲ要ス

第三百五十九條 預證券及ヒ質入證券ニハ左ノ事項及ヒ番號ヲ記載シ倉庫營業者之ニ署名スルコトヲ要ス

一 受寄物ノ種類、品質、數量及ヒ其荷造ノ種類、個數並ニ記號

二 寄託者ノ氏名又ハ商號

三 保管ノ場所

四 保管料

五 保管ノ期間ヲ定メタルトキハ其期間

六 受寄物ヲ保險ニ附シタルトキハ、保險金額、保險期間及ヒ保險者ノ氏名又ハ商號

第三百六十條 倉庫營業者カ預證券及質入證券ヲ寄託者ニ交付シタルトキハ其帳簿ニ左ノ事項ヲ記載スルヲ要ス

一 前條第一號、第二號及ヒ第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項

二 證券ノ番號及ヒ其作成ノ年月日

第三百六十一條 預證券及ヒ質入證券ノ所持人ハ倉庫營業者ニ對シ寄託物ヲ分割シ且其各部分ニ對スル預證券及ヒ質入證券ノ交

付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ所持人ハ前ノ預證券及ヒ質入證券ヲ倉庫營業者ニ返還スルコトヲ要ス

前項ニ定メタル寄託物ノ分割及ヒ證券ノ交付ニ關スル費用ハ所持人ノ之ヲ負擔ス

第三百六十二條 預證券及ヒ質入證券ヲ作りタルトキハ寄託ニ關スル事項ハ倉庫營業者ト所持人トノ間ニ於テハ其證券ノ定メ

所ニ依ル

第三百六十三條 (削除)

第三百六十四條 預證券及ヒ質入證券ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡シ又ハ之ヲ質入スルコトヲ得但證券ニ裏

書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス

預證券ノ所持人カ未ダ質人ヲ爲ササル間ハ預證券及ヒ質入證券ハ各別ニ之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第三百六十五條 第三百三十四條ノ二及ヒ第三百三十五條ノ規定ハ預證券及ヒ質入證券ニ之ヲ準用ス

參照第三百三十四條ノ二 貨物引換證ヲ作りタルトキハ運送品ニ關スル處分ハ貨物引換證ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ爲スコ

トヲ得ス

第三百三十五條 貨物引換證ニ依リ運送品ヲ受取ルコトヲ得ヘキ者ニ貨物引換證ヲ引渡シタルトキハ其引渡ハ運送品ノ

上ニ行使スル權利ノ取得ニ付キ運送品ノ引渡ト同一ノ效力ヲ有ス

第三百六十六條 預證券又ハ質入證券カ滅失シタルトキハ其所持人ハ相當ノ擔保ヲ供シテ更ニ其證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

此場合ニ於テハ倉庫營業者ハ其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百六十七條 質入證券ニ第一ノ質入裏書ヲ爲スニハ債權額、其利息及ヒ辨濟期ヲ記載スルコトヲ要ス

第一ノ質權者カ前項ニ掲ケタル事項ヲ預證券ニ記載シテ之ニ署名スルニ非サレハ質權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百六十七條ノ二 預證券ノ所持人ハ寄託物ヲ以テ預證券ニ記載シタル債權額及ヒ利息ヲ辨濟スル義務ヲ負フ

第三百六十七條ノ三 質入證券所持人ノ債權ノ辨濟ハ倉庫營業者ノ營業所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三百六十八條 質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサルトキハ手形ニ關スル規定ニ從ヒテ拒絕證書ヲ作ラシムルコト

ヲ要ス

第三百六十九條 質入證券ノ所持人ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニ非サレハ寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百七十條 倉庫營業者ハ競賣代金ノ中ヨリ競賣ニ關スル費用、受寄物ニ課スヘキ租稅、保管料其他保管ニ關スル費用及ヒ立

第九章 參考法規及參考書 商 法

替金ヲ控除シタル後其残額ヲ質入證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス
競買代金ノ中ヨリ前項ニ掲ケタル費用、租税、保管料、立替金及ヒ質入證券所持人ノ債権額、利息、拒絶證書作成ノ費用ヲ
控除シタル後餘利アルトキハ倉庫營業者ハ之ヲ預證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

第三百七十一條 競買代金ヲ以テ質入證券ニ記載シタル債權ノ全部ヲ辨済スルコト能ハサリシトキハ倉庫營業者ハ其支拂ヒタル
金額ヲ質入證券ニ記載シテ其證券ヲ返還シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百七十二條 質入證券ノ所持人ハ先ツ寄託物ニ付キ辨済ヲ受ケ尙ホ不足アルトキハ債務者其他ノ裏書人ニ對シテ其不足額ヲ
請求スルコトヲ得

第四百八十七條ノ二乃至第四百八十八條ノ四、第四百九十一條、第四百九十二條及ヒ第四百九十五條ノ規定ハ前項ニ定メタ
ル不足額ノ請求ニ之ヲ準用ス

參照第四百八十七條ノ二 前條第一項ノ場合ニ於テハ所持人ハ其直接ノ前者ニ對シ拒絶證書作成ノ日又ハ其後二日內ニ償還
請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百八十八條 裏書人カ其後者ヨリ償還請求ノ通知ヲ受ケタルトキハ其直接ノ前者ニ對シ通知ヲ受ケタル日又ハ其後
二日內ニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百八十八條ノ二 所持人又ハ裏書人カ其直接ノ前者ニ非サル前者ニ對シテ償還請求ノ通知ヲ發シタルトキハ其者ノ
後者ニ對シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任シ且利息及ヒ費用ノ償還ヲ請求スル權利ヲ失フ

所持人又ハ裏書人カ其前者ノ何レニ對シテモ通知ヲ發セサリシトキハ其前者全員ニ對スル權利義務ニ付キ前項ノ規定
ヲ準用ス

第四百八十八條ノ三 裏書ヲ爲スニ當タリ裏書地ヲ記載セサリシトキハ償還請求ノ通知ハ其直接ノ前者ニ對シテ之ヲ爲
スコトヲ要ス

前條ノ規定ハ裏書地ヲ記載セサリシ裏書人ニ對スル權利義務ニハ之ヲ適用セス振出人カ振出地ヲ記載セサリシトキ亦
同シ

第四百八十八條ノ四 所持人又ハ裏書人カ其前者ニ對シ第四百八十七條ノ二又ハ第四百八十八條ノ期間內ニ書面ヲ發送
シタル事實アルトキハ其事實ニ付キ通信官署又ハ公衆通信取扱所ノ證アル場合ニ限り其書面ハ之ヲ償還請求ノ通知書
ト推定ス

第四百九十一條 爲替手形ノ所持人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

一 支拂アラサリシ手形金額及ヒ滿期日以後ノ法定利息
二 拒絶證書作成ノ手数料其他ノ費用

前項ノ金額ハ償還ノ請求ヲ受ケル者ノ營業所又ハ住所ノ所在地カ支拂地ト異ナル場合ニ於テハ支拂地ヨリ償還ノ請求
ヲ受ケル者ノ營業所又ハ住所ノ所在地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依リテ之ヲ計算ス若シ支拂地ニ於
テ其相場ナキトキハ償還ノ請求ヲ受ケル者ノ營業所又ハ住所ノ所在地ニ最モ近キ地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手
形ノ相場ニ依ル

第四百九十二條 償還ノ請求ヲ受ケタル裏書人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

一 其支拂ヒタル金額及ヒ支拂ノ日以後ノ法定利息
二 其支出シタル費用

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第四百九十五條 償還ハ爲替手形、支拂拒絶證書及ヒ償還計算書ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ要セス

償還ヲ爲ス者ハ之ヲ受クル者ヲシテ償還計算書ニ償還ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且之ニ署名セシムルコトヲ得

第三百七十三條 質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケザリシ場合ニ於テ拒絕證書ヲ作ラシメザリシトキ又ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ二週間内ニ寄託物ノ償還ヲ請求セザリシトキハ裏書人ニ對スル請求權ヲ失フ

第三百七十四條 質入證券所持人ノ預證券所持人ニ對スル請求權ハ辨濟期ヨリ一年質入證券裏書人ニ對スル請求權ハ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケタル日ヨリ六個月質入證券裏書人ノ其前者ニ對スル請求權ハ償還ヲ爲シタル日ヨリ六個月ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第三百七十五條 寄託者又ハ預證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢若クハ其見本ノ抽出ヲ求メ又ハ其保存ニ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

質入證券ノ所持人ハ營業時間内何時ニテモ倉庫營業者ニ對シテ寄託物ノ點檢ヲ求ムルコトヲ得

第三百七十六條 倉庫營業者ハ自己又ハ其使用人カ受寄物ノ保管ニ關シテ注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルニ非ラサレハ其滅失又ハ毀損ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百七十七條 倉庫營業者ハ受寄物出庫ノ時ニ非サレハ保管料及ヒ立替金其他受寄物ニ關スル費用ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス但受寄物ノ一部出庫ノ場合ニ於テハ割合ニ應シテ其支拂ヲ請求スルコトヲ得

第三百七十八條 當事者カ保管ノ期間ヲ定メザリシトキハ倉庫營業者ハ受寄物入庫ノ日ヨリ六個月ヲ經過シタル後ニ非サレハ其返還ヲ爲スコトヲ得ス但已ムコトヲ得サル事由アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七十九條 預證券及ヒ質入證券ヲ作リタル場合ニ於テハ之ト引換ニ非サレハ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百八十條 預證券ノ所持人ハ質入證券ニ記載シタル債權ノ辨濟期前ト雖モ其債權ノ全額及ヒ辨濟期マテノ利息ヲ倉庫營業者ニ供託シテ寄託物ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第三百八十條ノ二 寄託物カ同種類ニシテ同一ノ品質ヲ有シ且分割スルコトヲ得ヘキ物ナルトキハ預證券ノ所持人ハ債權額ノ一部及ヒ其辨濟期マテノ利息ヲ供託シ其割合ニ應シテ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テ倉庫營業者ハ供託ヲ受ケタル金額及ヒ返還セタル寄託物ノ數量ヲ預證券ニ記載シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ得

前項ニ定メタル寄託物ノ一部出庫ニ關スル費用ハ預證券ノ所持人ノ之ヲ負擔ス

第三百八十條ノ三 前二條ノ場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存在ス

第三百七十一條ノ規定ハ前條第一項ノ供託金ヲ以テ質入證券ニ記載シタル債權ノ一部ヲ辨濟シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十一條 第二百八十六條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ寄託者又ハ預證券ノ所持人カ寄託物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサル場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テ質入證券ノ所持人ノ權利ハ競賣代金ノ上ニ存在ス

第三百七十條及ヒ第三百七十一條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十六條 商人間ノ賣買ニ於テ買主カ其目的物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ賣主ハ其物ヲ供託シ又ハ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲シタル後之ヲ競賣スルコトヲ得此場合ニ於テハ遲滞ナク買主ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

損取シ易キ物ハ前項ノ催告ヲ爲サスレテ之ヲ競賣スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ賣主カ賣買ノ目的物ヲ競賣シタルトキハ其代價ヲ供託スルコトヲ要ス但其全部又ハ一部ヲ代金ニ充當スルコトヲ妨ケス

第三百八十二條 第三百四十八條ノ規定ハ倉庫營業者ニ之ヲ準用ス

第三百八十三條 寄託物ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル倉庫營業者ノ責任ハ出庫ノ日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ期間ハ寄託物ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ倉庫營業者カ預證券ノ所持人若シ所持人カ知レサルトキハ寄託者ニ對シテ其滅失ノ通知ヲ發シタル日ヨリ之ヲ起算ス

前二項ノ規定ハ倉庫營業者ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第三百八十三條ノ二 倉庫營業者ハ寄託者ノ請求アルトキハ預證券及ヒ質入證券ニ代ヘテ倉荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

倉荷證券ニハ預證券ニ關スル規定ヲ準用ス

第三百八十三條ノ三 倉荷證券ヲ以テ質權ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ質權者ノ承諾アルトキハ寄託者ハ債權ノ辨濟期前ト雖モ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テ倉庫營業者ハ返還シタル寄託物ノ種類、品質及ヒ數量ヲ倉荷證券ニ記載シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第二章 保稅倉庫法 (明治三十年三月法律第十五號、同四十年三月法律第二十號、昭和二年四月法律第四十四號ニテ改正)

第一章 總 則

第一條 保稅倉庫ハ輸入手數未済ノ貨物ヲ藏置スル所トス

保稅倉庫ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ内國貨物ヲ藏置スルコトヲ得

第一條ノ二 保稅倉庫ニ於テハ稅關長ノ許可セタル範圍内ニ於テ貨物ノ改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ手入ノ材料トシテ内國貨物ヲ外國貨物ニ、外國貨物ヲ内國貨物ニ使用セムトスルトキハ稅關ノ承認ヲ受クヘシ

第二條 保稅倉庫ニ藏置スル輸入手數未済ノ貨物ハ其ノ藏置中ハ輸入シタルモノト看做サス

第三條 保稅倉庫ニ藏置シタル外國貨物ノ輸入稅ハ輸入ノ時ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ庫入ノ際稅關ノ検査ヲ受ケタルモノニ付テハ其ノ輸入稅ハ庫入ノ時ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス

前項ノ検査ヲ受ケタル外國貨物カ其ノ藏置中災害ニ因リ滅失若ハ變質セシ又ハ稅關ノ承認ヲ經テ滅却セラレタルトキハ其ノ現存スル部分ニ付輸入ノ時ノ性質及數量ニ依リ輸入稅ヲ徵收ス

第四條 保稅倉庫ニ若ハ保稅倉庫ヨリ輸入手數未済ノ貨物ヲ運搬スルトキハ命令ヲ以テ定ムル通路ニ依ルヘシ

第五條 保稅倉庫ニ藏置スルコトヲ得ヘキ貨物ノ種類ハ稅關長之ヲ定ム

第五條ノ二 保稅倉庫ニ貨物ヲ庫入シ又ハ保稅倉庫ヨリ貨物ヲ庫出セムトスルトキハ稅關ノ許可ヲ受クヘシ

第六條 保稅倉庫ニ藏置シタル貨物ノ輸入ニ關シテハ此法律ニ規定シタルモノノ外關稅法ヲ適用ス

第七條 保稅倉庫ノ貨物藏置期限ハ庫入ノ日ヨリ三年トス

第八條 保稅倉庫ニ藏置ノ貨物庫移ヲ爲ストキハ其ノ藏置期限ハ總テ最初庫入ノ日ヨリ通算ス

第九條 保稅倉庫又ハ保稅倉庫ヨリ輸入手數未済ノ貨物ヲ運搬スルトキハ稅關ハ貨主ヲシテ其ノ貨物ニ對スル輸入稅ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

前項ノ貨物稅關ノ指定期限内ニ仕向地ニ到達セサルトキハ其ノ輸入稅ヲ徵收ス但シ災害ニ因リ滅失シタルモノニシテ稅關ノ承認ヲ受ケタルトキハ此限ニアラス

第九條ノ二 保稅倉庫ニ藏置シタル貨物カ藏置期限ヲ經過スルモ引取ラレサルトキハ稅關ハ利害關係者ノ費用及危險ノ負擔ニ於テ其ノ貨物ヲ收容シ又ハ庫主ヨリ其ノ輸入稅ヲ徵收ス

第九條ノ三 稅關長ハ取締上必要アリト認ムルトキハ藏置貨物ノ手入ノ停止又ハ庫出ヲ命シ其ノ他必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ貨物ノ庫出ヲ命セラレタル者之ヲ庫出セサルトキハ稅關ハ其ノ者ノ費用及危險ノ負擔ニ於テ其ノ貨物ヲ收

容スルコトヲ得

第九條ノ四 關稅法第三條中收容ニ關スル規定並同法第四十七條、第四十八條及第五十條乃至第五十二條ノ規定ハ本法ニ依リ收容シタル貨物ニ之ヲ準用ス

第十條 官設保稅倉庫ニ藏置スル貨物ニ對シテハ記名ノ預證券ヲ發スルモノトス

第十一條 預證券ハ裏書ヲ以テ讓渡スコトヲ得

第十二條 預證券盜難ニ罹リ又ハ紛失滅失シタルトキハ其ノ旨稅關ニ届出ヘシ

前項ノ場合ニ於テ民事訴訟法ニ依リ其ノ證券ヲ無効トスル除權判決アリタルトキハ權利者ニ新證券ヲ交付ス

第十三條 前條第一項ノ届出アリタル預證券ヲ持參スル者アルトキハ持參人及届出人ニ於テ相當ノ手續ヲ爲シ其ノ權利者確定スル迄藏置貨物ノ引渡ヲ停止ス

第十四條 藏置貨物ハ預證券引換ニ交付スルモノトス

第十五條 藏置貨物引取ノ權利ニ付訴訟アルトキハ其ノ當事者ハ藏置期限ノ延期ヲ求ムルコトヲ得

第十六條 (削除)

第十七條 藏置ノ貨物腐敗其ノ他ノ事故ニ因リ倉庫又ハ他ノ貨物ヲ害スル虞アルトキハ稅關ハ公告シテ指定ノ期限内ニ其ノ引取ヲ命スヘシ此期限ヲ經過スルモ其ノ貨物ヲ引取ラサルトキハ稅關ハ之ヲ滅却スルコトヲ得但シ緊急ノ必要アルトキハ期限内ニ於テモ仍之ヲ滅却スルコトヲ得

前項ニ依リ滅却シタル貨物ニ對シテハ輸入稅ヲ徵收セシ

第三章 私設保稅倉庫

第十八條 保稅倉庫ノ業ヲ營マムトスル者ハ稅關ノ特許ヲ受クヘシ

第十九條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ稅關長ノ指揮監督ヲ受クヘシ

第二十條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ其ノ保管スル貨物ノ輸入稅ニ付自ラ一切ノ責任ヲ有ス

第二十一條 私設保稅倉庫ノ庫主ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保管貨物輸入稅ノ擔保トシテ金錢又ハ國債證券ヲ供託スヘシ

第二十二條 (削除)

第二十三條 (削除)

第二十四條 私設保稅倉庫ノ貨物保管規則及庫數料ハ稅關長ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第二十五條 當該官吏ハ監督上必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ私設保稅倉庫ノ貨物又ハ帳簿書類ヲ檢查スルコトヲ得其ノ貨物運搬中ニ在ルモノハ其ノ所在ニ就キ檢査ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 私設保稅倉庫營業ノ特許ハ左ノ場合ニ於テ消滅スルモノトス

- 一 庫主其ノ營業ヲ廢シタルトキ
- 二 庫主死亡シタルトキ
- 三 庫主破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
- 四 特許ノ期限滿了シタルトキ
- 五 稅關長ニ於テ特許ヲ取消シタルトキ

第二十七條 私設保稅倉庫營業ノ特許消滅シタルトキハ稅關長ハ其ノ旨ヲ公告シ貨主ヲシテ指定ノ期限内ニ其ノ藏置貨物ノ處分ヲ爲サシムヘシ但シ前營業者ノ業務ヲ引繼クカ爲ニ特許消滅後一箇月以内ニ營業ノ特許ヲ出願スルモノアルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ指定期限ヲ過クルモ貨主其ノ貨物ノ處分ヲ爲ササルトキハ稅關長ハ之ヲ官設保稅倉庫又ハ他ノ私設保稅倉庫ノ保管ニ

移スヘシ

第二十八條 營業特許ノ消滅シタル私設保税倉庫ノ庫主又ハ相續人ハ其ノ藏置貨物ノ引取又ハ庫移ノ了ル迄ハ私設保税倉庫ニ關スル一切ノ義務ヲ免ルルコトヲ得ス

第二十九條 第二十七條第二項ニ依リ藏置貨物ノ庫移ヲ爲シタルトキハ貨主ハ其ノ保税倉庫ニ於ケル諸般ノ規則慣例ヲ遵守スルノ義務アルモノトス

第三十條 右ノ場合ニ於テハ税關長ハ營業ノ特許ヲ取消スコトヲ得

- 一 業務ニ關スル法律命令ニ違背シタルトキ
- 二 庫主輸入税ノ負擔ニ堪ヘサルノ疑アルトキ
- 三 庫主禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

第四章 罰 則

第三十一條 第一條ノ二ノ規定ニ違反シテ貨物ノ手入ヲ爲シ又ハ貨物ヲ使用シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
一 許可ヲ受ケスレテ保税倉庫ニ貨物ヲ庫入シ又ハ保税倉庫ヨリ貨物ヲ庫出シタル者
二 認可ヲ受ケタル貨物保管規則ニ依ラズシテ貨物ノ取扱ヲ爲シ又ハ認可ヲ受ケサル庫敷料ヲ徴シタル者
三 第二十五條ノ検査ヲ拒ミ、妨ケ又ハ忌避シタル者

第三十三條 私設保税倉庫ノ庫主又ハ輸出若ハ輸入ノ業ヲ營ム者ノ代理人又ハ使用人カ其ノ業務ニ關シ第三十一條又ハ前條ノ規定ニ依リ處罰セラルヘキトキハ其ノ庫主又ハ營業者ヲ處罰ス但シ庫主又ハ營業者カ其ノ代理人又ハ使用人ノ監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スル場合及税關貨物取扱人カ貨物ノ取扱ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

税關貨物取扱人ノ代理人、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ第三十一條又ハ前條ノ規定ニ依リ處罰セラルヘキトキハ税關貨物取扱人ヲ處罰ス

第三十四條 前條ノ場合ニ於テ庫主、營業者又ハ税關貨物取扱人カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ヲ處罰ス但シ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十四條ノ二 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法第三十八條第三項但書、第三十九條第二項、第四十條、第四十一條、第六十三條及第六十六條ノ例ヲ用ヒス但シ第三十二條第三號ノ罪ヲ犯シタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十四條ノ三 犯則事件ノ調査及處分ニ關シテハ關稅法ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ定ム(昭和二年法律第四十四號ハ昭和二年勅令第二百六十四號ヲ以テ昭和二年九月一日ヨリ施行)
本法施行前主務大臣カ私設保税倉庫、藏置貨物ノ種類、貨物保管規則又ハ庫敷料ニ付爲シタル特許、認可其ノ他ノ處分ハ税關長ノ爲シタル特許、認可其ノ他ノ處分トシテ本法施行後仍其ノ效力ヲ有ス
本法施行前ヨリ引續キ保税倉庫ニ藏置シタル貨物ニ付テハ其ノ藏置期限ハ最初ノ庫入許可ノ日ヨリ三年トシ其ノ輸入税ハ仍從前ノ例ニ依リ之ヲ徵收ス

第三 保税倉庫法施行規則 (昭和二年八月 大藏省令第二十三號)

第一條 保税倉庫ニ藏置スルコトヲ得ヘキ内國貨物ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル
一 輸出スヘキ貨物

第九章 參考法規 保税倉庫法施行規則

- 二 改装、仕分其ノ他ノ手入ノ爲使用スヘキ貨物
- 三 保税倉庫所在地ノ状況ニ依リ特ニ必要アリト認メタル場合ニ於テ税關長ノ許可セタル貨物
- 前項第三號ノ貨物ニ付テハ外國貨物ヲ藏置スル爲必要アルトキハ税關長ハ何時ニテモ其ノ庫出ヲ命スルコトヲ得
- 第二條 外國貨物ト内國貨物及庫入ノ際税關ノ検査ヲ受ケタル貨物ト検査ヲ受ケサル貨物トハ區別シテ之ヲ藏置スルコトヲ要ス但シ税關官吏ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第三條 他ノ貨物ヲ損傷スル虞アル貨物ハ他ノ貨物ト混同シテ之ヲ藏置スルコトヲ得ス
- 第四條 發火質、燃焼質又ハ爆發質ノ貨物ハ特ニ其ノ貨物ヲ藏置スル爲設ケタル倉庫ノ外之ヲ藏置スルコトヲ得ス
- 第五條 貨物ノ藏置及取扱ニ付テハ總テ税關官吏ノ指揮ニ從フヘシ
- 第六條 貨物ノ改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲サントスルトキハ第一號様式ニ依ル手入申請書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ官設保税倉庫ニ於テ貨物ノ手入ヲ爲サントスルトキハ前項ノ申請書ニ當該貨物ノ預證券ヲ添附シ手入ヲ終リタルトキ之カ爲異動ヲ生シタル事項ニ付記載ヲ受ケタル後返還ヲ受クヘシ
- 第七條 手入ヲ終リタルトキハ第二號様式ニ依ル手入済申告書ヲ遲滞ナク税關ニ提出シ其ノ貨物ニ付検査ヲ受クヘシ
- 第八條 保税倉庫ニ貨物ヲ庫入セントスルトキハ外國貨物ニ在リテハ第三號様式、内國貨物ニ在リテハ第四號様式ニ依ル庫入申告書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ但シ庫入ノ際検査ヲ受クヘキ外國貨物ニ付テハ申告書ニ其ノ旨ヲ附記スルコトヲ要ス
- 前項ノ申告書ニハ貨物ノ仕入書又ハ明細書ヲ添附提出スヘシ
- 第九條 他人ノ貨物ヲ藏置スヘキ保税倉庫ニ藏置スル外國貨物ニ付テハ申請アリタルモノニ限り庫入ノ際検査ヲ爲スモノトス

- 自己ノ貨物ヲ藏置スヘキ保税倉庫ニ藏置スル外國貨物ハ庫入ノ際検査ヲ受クヘシ
- 第十條 保税倉庫ヨリ貨物ヲ庫出セントスルトキハ輸入、輸出、積戻若ハ運送ノ免許ヲ受ケ又ハ庫移若ハ保税工場ヘノ移入ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外第五號様式ニ依ル庫出申告書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ
- 保税倉庫法第一條ノ二第二項ニ依リ手入ノ材料トシテ内國貨物ヲ使用シタル外國貨物又ハ外國貨物ヲ使用シタル内國貨物ヲ庫出セントスルトキハ其ノ使用シタル材料ノ輸入、輸出、積戻、運送、庫移、保税工場ヘノ移入又ハ庫出申告書ヲ提出シ免許又ハ許可ヲ受クヘシ
- 第十一條 藏置貨物ヲ庫移セントスルトキハ第六號様式ニ依ル庫移申告書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ但シ外國貨物ノ庫移ヲ爲ス爲運送ヲ要スルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第十二條 保税倉庫法第九條第二項但書ノ規定ニ依リ税關ノ承認ヲ受ケントスルトキハ滅失シタル貨物ノ品名、價額、數量、價格、滅失ノ年月日及場所ヲ記載シタル申請書ヲ税關ニ提出スヘシ
- 前項ノ申請アリタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ税關ハ貨物ノ滅失シタル地所轄ノ税關又ハ警察官署ノ滅失證明書ヲ提出セシムルコトヲ得
- 第十三條 藏置貨物ノ見本ヲ取出サントスルトキハ第七號様式ニ依ル見本取出申請書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ
- 官設保税倉庫ノ藏置貨物ノ見本ヲ取出サントスルトキハ前項ノ申請書ニ當該貨物ノ預證券ヲ添附シ取出ヲ終リタルトキ其ノ見本ノ數量及取出ノ年月日ノ記載ヲ受ケタル後返還ヲ受クヘシ
- 第十四條 官設保税倉庫ニ貨物ヲ庫入シタルトキハ税關長ノ署名捺印シタル預證券ヲ貨主ニ交付ス
- 預證券ニハ左ノ事項ヲ記載ス
 - 一 貨物ノ品名、品質、記號、番號、包装ノ種類、筒數及數量

- 二 貨主ノ住所及氏名又ハ商號
- 三 庫入年月日
- 四 倉庫所在地及倉庫番號
- 五 庫敷料
- 六 預證券ノ作成年月日
- 七 外國貨物ノ預證券ニハ前六號ノ外左ノ事項ヲ記載ス
- 七 庫入ノ際ニ於ケル検査ノ済否及検査ヲ受ケタル貨物ニ在リテハ其ノ輸入税額又ハ輸入税率
- 第十五條 預證券ノ所持人ハ税關ニ對シ預證券ノ分割ヲ請フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前ノ預證券ヲ税關ニ返還スルコトヲ要ス
- 第十六條 預證券ノ裏書ハ被裏書人ノ氏名又ハ商號、裏書ノ年月日ヲ記載シ裏書人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス但シ裏書人ノ署名ノミヲ以テ爲スコトヲ得
- 第十七條 官設保税倉庫ニ藏置シタル貨物ノ一部ヲ庫出セントスルトキハ當該貨物ノ預證券ヲ税關ニ呈示シ庫出ヲ終リタルトキ庫出シタル貨物ノ箇數、數量及庫出ノ年月日ノ記載ヲ受ケタル後返還ヲ受ケヘシ
- 第十八條 預證券盜難ニ罹リ又ハ紛失滅失シタル場合ニ於テ新證券ノ交付ヲ請ハントスルトキハ再交付申請書ニ除權判決書ノ謄本ヲ添附シ其ノ證券ヲ發シタル税關ニ提出スヘシ
- 第十九條 汚損其ノ他ノ事由ニ因リ預證券ノ書換ヲ請ハントスル者ハ書換申請書ニ預證券ヲ添附シ其ノ證券ヲ發シタル税關ニ提出スヘシ
- 第二十條 預證券ノ分割、再交付又ハ書換ヲ請フ者ハ一通ニ付手数料三十錢ヲ納付スヘシ

- 第二十一條 官設保税倉庫ノ藏置貨物引換ノ權利ニ付訴訟アル場合ニ於テ其ノ當事者ヨリ藏置期限ノ延期ヲ申請セントスルトキハ第八號様式ニ依ル藏置期限延期申請書ニ訴訟ノ事實ヲ證明スル書類ヲ添附シテ税關ニ提出シ許可ヲ受ケヘシ但シ延期豫定期限内ニ訴訟事件終結セザルトキハ更ニ其ノ延期ヲ求ムルコトヲ得
- 第二十二條 官設保税倉庫ニ貨物ヲ藏置シ又ハ官設保税倉庫ニ於テ藏置貨物ノ手入ヲ爲ス者ハ官設保税倉庫敷料規則ニ依リ庫敷料ヲ納付スヘシ
- 第二十三條 保税倉庫ノ特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ地區ノ位置、面積、倉庫ノ構造、棟數、藏置スヘキ貨物ノ種類及特許年限、改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲サントスル者ニ在リテハ其ノ手入ノ種類及其ノ手入ニ使用スヘキ貨物ノ種類ヲ記シタル書面ニ倉庫及其ノ附近ノ圖面ヲ添附シ所轄税關長ニ出願スヘシ但シ出願人會社ナルトキハ其ノ會社ノ登記謄本及定款ノ謄本ヲ添付スヘシ
- 他人ノ貨物ヲ藏置スヘキ保税倉庫業ノ特許ヲ受ケントスル者ニ在リテハ營許ノ出願ト同時ニ貨物保管規則及庫敷料ノ認可ノ申請ヲ爲スヘシ
- 第二十四條 私設保税倉庫業ノ特許期限ハ特許ノ日ヨリ三十年以内トス
- 特許期限ハ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得但シ其ノ期限ハ更新ノ日ヨリ三十年以内トス
- 第二十五條 私設保税倉庫ノ庫主ハ特許ヲ受ケタル後遲滞ナク保税倉庫法第二十一條ニ依ル擔保ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ税關ニ提出スヘシ
- 第二十六條 前條ニ依ル擔保ノ價額ハ倉庫ノ面積三百坪迄ハ二千圓トシ三百坪ヲ超ユルトキハ二百坪迄ヲ増ス毎二千圓ヲ加ヘタルモノトス
- 第二十七條 私設保税倉庫坪數ノ増加ニ因リ擔保ノ増加ヲ必要トスルトキハ庫主ハ遲滞ナク其ノ増加額ニ相當スル擔保ヲ供託シ

其ノ供託受領證ヲ税關ニ提出スヘシ

第二十八條 私設保税倉庫坪數ノ減少ニ因リ擔保ニ過剩ヲ生スルトキハ庫主ハ其ノ旨ヲ税關ニ届出テ擔保ノ減少ヲ求ムルコトヲ得

第二十九條 私設保税倉庫ヲ改築シ若ハ構造ヲ變更シ又ハ之ヲ増設シ若ハ減少セントスルトキハ税關長ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ修繕シ又ハ其ノ造作ヲ變更セントスルトキ亦同シ

前項ノ改築若ハ構造ノ變更又ハ増設若ハ減少ノ承認ヲ受ケタル者ハ工事落成ノ際税關ニ届出テ其ノ倉庫ノ検査ヲ受クヘシ

第三十條 保税倉庫業ノ特許ヲ受ケタル者特許期限内ニ廢業セントスルトキハ其ノ旨ヲ豫メ税關長ニ届出ツヘシ

第三十一條 保税倉庫業ノ特許消滅シタル場合ニ於テ其ノ業務ヲ引繼カントスル者ハ第二十三條ノ規定ニ準據シ税關長ニ出願スヘシ

第三十二條 私設保税倉庫ノ藏置貨物ノ種類、私設保税倉庫ニ於テ爲シ得ヘキ手入ノ種類又ハ手入ニ使用スヘキ貨物ノ種類ヲ變更セントスルトキハ税關長ノ許可ヲ受クヘシ

第三十三條 私設保税倉庫又ハ其ノ藏置貨物ニ異狀アルトキハ庫主ハ直ニ其ノ旨ヲ税關ニ届出テ税關官吏ノ臨檢ヲ受クヘシ藏置貨物腐敗、損傷其ノ他ノ事由ニ因リ滅却ヲ必要トスルトキハ税關ニ届出テ其承認ヲ受クヘシ

第三十四條 私設保税倉庫ノ藏置貨物盜難ニ罹リ又ハ紛失シタルトキハ庫主ハ其ノ貨物ニ對スル輸入税ヲ納付スヘシ

第三十五條 私設保税倉庫ノ庫主ハ防火設備其ノ他藏置貨物ノ保管上必要ナル設備ヲ爲スヘシ

第三十六條 私設保税倉庫ノ庫主ハ税關長ノ指揮ニ從ヒ貨物ノ検査上必要ナル場所ヲ設ケ其ノ他適當ノ設備ヲ爲スヘシ

第三十七條 私設保税倉庫ノ庫主ハ貨物ノ検査ニ關シ一切ノ利便ヲ與フルノ義務アルモノトス

第三十八條 私設保税倉庫ニハ二重鎖鑰ヲ設ケ其ノ鑰一箇ハ之ヲ税關ニ預クヘシ

第三十九條 私設保税倉庫ヲ開閉シ又ハ貨物ノ出入ヲ爲ストキハ税關官吏ノ立會ヲ受クヘシ

第四十條 私設保税倉庫ノ庫主ハ其ノ業務ニ從事スル者ノ氏名ヲ税關ニ届出ツヘシ其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第四十一條 官設保税倉庫内ニ於テ貨物ノ取扱ニ從事スヘキ人夫ハ貨主ヨリ豫メ税關ニ届出テ其ノ承認ヲ受クヘシ

第四十二條 私設保税倉庫ノ庫主ハ其ノ雇人及其ノ使用スル人夫ニシテ保税倉庫ノ構内ニ出入スル者ニ對シ相當ノ取締ヲ爲スヘシ

第四十三條 私設保税倉庫ノ庫主ハ藏置貨物ニ關スル帳簿ヲ設ケ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 庫入又ハ庫出シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量、價格及庫入又ハ庫出ノ年月日
- 二 改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲シタル貨物ニ在リテハ其ノ品名及之ニ使用シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量、價格、手入ノ種類及検査済ノ年月日

第四十四條 私設保税倉庫ノ庫主ハ税關ノ要求アルトキハ何時ニテモ其ノ業務ニ關スル諸般ノ報告ヲ爲スヘシ

第四十五條 日没ヨリ日出迄ノ間及税關ノ休日ニ於テ保税倉庫ノ開庫ヲ必要トスルトキハ第九號様式ニ依ル臨時開庫申請書ヲ税關ニ提出シ特許ヲ受クヘシ但シ關稅法第二十六條及關稅法施行規則第七十四條ノ特許ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條 前條ノ特許ヲ受ケタル者ハ開庫一時間迄毎ニ手数料一圓ヲ納付スヘシ

第四十七條 保税倉庫法第十七條及第二十七條ノ公告ハ當該税關ニ揭示スル外三日以上官報ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第四十八條 貨物庫入ノ日ヨリ起算スル期間ハ庫入許可ノ日ヨリ之ヲ計算ス

第四十九條 貨主藏置貨物ノ調査ヲ爲シ又ハ其ノ保存上必要ノ行爲ヲ爲サントスルトキハ其ノ旨ヲ税關ニ申出テ承認ヲ受クヘシ

第五十條 保税倉庫内ニハ火氣ヲ入ルルコトヲ得ス燈火ヲ必要トスルトキハ税關ノ許可ヲ受ケタルモノヲ用ユヘシ

第五十一條 官設保税倉庫ニ藏置シタル貨物ニ係ル運搬費其ノ他貨物取扱ノ費用ニシテ税關ニ辨償スヘキモノハ貨物庫出ノ際之

ヲ納付スヘシ

附則

本令ハ昭和二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十年大藏省令第九號ハ之ヲ廢止ス

(様式略)

第四 保税工場法 (昭和二年四月 法律第四十五號)

- 第一條 保税工場ハ外國貨物ニ加工シ若ハ之ヲ原料トシテ製造ヲ爲シ又ハ外國貨物ノ改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲ス工場トス貨物ノ混合ハ之ヲ貨物ノ製造ト看做ス
- 第二條 保税工場ニ於テハ税關長ノ許可シタル範圍内ニ於テ内國貨物ニ加工シ又ハ之ヲ原料トシテ製造ヲ爲スコトヲ得
- 第三條 保税工場ニ於ケル作業ノ原料ニハ内國貨物ト外國貨物トヲ使用スルコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依リ内國貨物ト外國貨物トヲ使用シタル貨物ハ之ヲ外國貨物トス
- 第四條 保税工場ニ於ケル作業及貨物ノ種類ハ税關長之ヲ定ム
- 第五條 保税工場ノ外國貨物ノ輸入税ハ輸入ノ時ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス但シ命令ヲ以テ指定シタル外國貨物ニシテ作業ノ際其ノ原料ニ付税關ノ検査ヲ受ケタルモノノ輸入税ハ命令ノ定ムル所ニ依リ検査ノ時ノ原料ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス
- 前項但書ノ場合ニ於テハ輸入税ノ外命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ利子ニ相當スル金額ヲ徵收スルコトヲ得

- 前項ノ規定ニ依リ徵收スル金額ハ之ヲ輸入税ト看做ス
- 第六條 保税工場ノ貨物藏置期間ハ移入許可ノ日ヨリ一年トス但シ税關長ハ特別ノ事由アリト認ムル場合ニ於テハ更ニ一年ヲ超エサル期間内ニ於テ之ヲ延長スルコトヲ得
- 前項ノ期間ハ他ノ保税工場ヨリ移入シタル貨物ニ付テハ最初ノ移入許可ノ日ヨリ之ヲ計算ス
- 第七條 税關官吏ハ取締上必要アリト認ムルトキハ保税工場ニ出入スル者ノ身邊搜索ヲ爲スコトヲ得
- 第八條 私設保税工場ヲ設置セムトスル者ハ税關長ノ特許ヲ受クヘシ
- 第九條 私設保税工場ノ使用規則及使用料ハ税關長ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ
- 第十條 保税倉庫法第五條ノ二、第九條ノ三、第十九條、第二十條及第二十五條乃至第三十條ノ規定ハ保税工場ニ之ヲ準用ス
- 第十一條 關稅法第三條中收容ニ關スル規定並同法第四十七條、第四十八條及第五十條乃至第五十二條ノ規定ハ本法ニ依リ收容シタル貨物ニ之ヲ準用ス
- 第十二條 第二條又ハ第四條ノ規定ニ違反シテ作業ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
- 第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
 - 一 許可ヲ受ケスシテ保税工場ニ貨物ヲ移出シタル者
 - 二 第七條ノ搜索又ハ第十條ニ於テ準用スル保税倉庫法第二十五條ノ検査ヲ拒ミ、妨ケ又ハ忌避シタル者
 - 三 認可ヲ受ケタル使用規則ニ依ラスシテ保税工場ヲ使用セシメ又ハ認可ヲ受ケサル使用料ヲ徵シタル者
- 第十四條 私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケタル者又ハ輸出若ハ輸入ノ業ヲ營ム者ノ代理人又ハ使用人カ其ノ業務ニ關シ第十二條又ハ前條ノ規定ニ依リ處罰セラルヘキトキハ其ノ特許ヲ受ケタル者又ハ營業者ヲ處罰ス但シ特許ヲ受ケタル者又ハ營業者

カ其ノ代理人又ハ使用人ノ監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スル場合及稅關貨物取扱人カ貨物ノ取扱ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

稅關貨物取扱人ノ代理人、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ第十二條又ハ前條ノ規定ニ依リ處罰セラルヘキトキハ稅關貨物取扱人ヲ處罰ス

第十五條 前條ノ場合ニ於テ特許ヲ受ケタル者、營業者又ハ稅關貨物取扱人カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ヲ處罰ス但シ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法第三十八條第三項但書、第三十九條第二項、第四十條、第四十一條、第六十三條及第六十六條ノ例ヲ用ヒス但シ第十三條第二號ノ罪ヲ犯シタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 犯則事件ノ調査及處分ニ關シテハ關稅法ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和二年勅令第二百六十六號ヲ以テ昭和二年九月一日ヨリ施行)

假置場法ハ之ヲ廢止ス

舊法ニ依リテ特許セラレタル私設假置場ハ之ヲ本法ニ限リテ特許セラレタル私設稅工場ト看做シ舊法ニ限リテ認可セラレタル貨物藏置規則及庫敷料ハ之ヲ本法ニ依リテ認可セラレタル使用規則及使用料ト看做ス

舊法ニ依リテ爲シタル處分及手續ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

本法ニ依リテ假置場ニ藏置シタル貨物ニシテ引續キ稅工場ニ在ル貨物ノ藏置期間ハ最初ノ移入免許ノ日ヨリ一年トス但シ之ヨリ長キ期間ヲ認メラレタル貨物ニ付テハ其ノ期間ニ限ル

前項ノ貨物ノ輸入稅ハ仍從前ノ例ニ依リ之ヲ徵收ス

他ノ法令中稅關假置場又ハ假置場トアルハ稅工場トス

第五 稅工場法施行規則 (昭和二年八月 大藏省令第二十五號)

第一條 稅工場ニ貨物ヲ移入セントスルトキハ外國貨物ニ在リテハ第一號様式、内國貨物ニ在リテハ第二號様式ニ依ル移入申告書ヲ稅關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

第二條 外國貨物ト内國貨物及作業ノ際稅關ノ検査ヲ受ケタル貨物ト検査ヲ受ケサル貨物トハ區別シテ之ヲ藏置スルコトヲ要ス但シ稅關官吏ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 貨物ニ加工シ若ハ之ヲ原料トシテ製造ヲ爲シ又ハ貨物ノ改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲サントスルトキハ第三號様式ニ依ル「作業申告書」ヲ稅關ニ提出シ承認ヲ受クヘシ

第四條 稅工場法第五條第一項但書ノ規定ノ適用ヲ受クヘキ貨物ノ原料ニ付テハ作業ノ際稅關ノ検査ヲ受クヘシ

第五條 作業ヲ終リタルトキハ加工又ハ製造ヲ爲シタル場合ニ於テハ第四號様式ニ依ル「加工製造申告書」ヲ、手入ヲ爲シタル場合ニ於テハ第五號様式ニ依ル手入済申告書ヲ遲滞ナク稅關ニ提出シ其ノ貨物ニ付検査ヲ受クヘシ

第六條 内國貨物ノミチ以テ作業ハ外國貨物ノミチ以テスル作業又ハ外國貨物ト内國貨物ヲ以テスル作業ト區別シテ之ヲ爲スヘシ

第七條 稅工場ヨリ貨物ヲ移出セントスルトキハ輸入、輸出、積戻若ハ運送ノ免許ヲ受ケ又ハ他ノ稅工場ヘノ移入若ハ稅倉庫ニ庫入ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外第六號様式ニ依ル「移出申告書」ヲ稅關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

第九章 參考法規 稅工場法施行規則

第八條 保税工場法第五條第一項但書ノ適用ヲ受クヘキ貨物ノ輸入申告書ニハ其ノ貨物ニ使用シタル原料ノ品名、箇數、數量、價格、作業、承認年月日及其ノ承認番號ヲ附記スヘシ

第九條 保税工場法第五條第二項ノ規定ニ定リ徵收スヘキ利子ニ相當スル金額ハ原料ニ付検査ヲ受ケタル日ヨリ起算シ輸入申告ノ日ニ至ル迄輸入税額ニ對スル年六分ノ割合ヲ以テ計算シタル金額トシ輸入税ニ加算シテ之ヲ徵收ス

第十條 藏置貨物ノ見本ヲ取出サントスルトキハ第七號様式ニ依ル見本取出申請書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

第十一條 保税工場法第六條第一項但書ノ規定ニ依リ貨物藏置期間ノ延長ヲ申請セントスルトキハ第八號様式ニ依ル藏置期間延長申請書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

第十二條 官設保税工場ヲ使用スル者ハ左ノ使用料ヲ納付スヘシ
一 重量ニ依リ輸入税ヲ賦課セラルヘキ貨物 五十斤迄毎二月二錢
一立方尺迄毎二月二錢

二 前號以外ノ貨物 一坪迄毎二月二圓
三 土地又ハ建物ヲ専用スルトキ 一坪迄毎二月二圓

前項第一號及第二號ノ使用料ハ徵收上便宜ト認ムルトキハ第二號ノ定率ヲ第一號ノ貨物ニ、第一號ノ定率ヲ第二號ノ貨物ニ適用スルコトヲ得

第十三條 一月未滿ノ使用料ハ保税工場ノ狀況其ノ他ノ事情ニ依リ特ニ必要アルトキハ之ヲ低減スルコトヲ得

第十四條 第十二條第一項第一號及第二號ノ使用料ハ貨物移出ノ際之ヲ納付シ同項第三號ノ使用料ハ一月毎ニ之ヲ前納スヘシ

第十五條 私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ地區ノ位置、面積、建設物ノ構造、棟數、坪數、作業ノ種類及其ノ作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類並特許年限ヲ記シタル書面ニ地區、工場及其ノ附近ノ圖面ヲ添附シ所轄税關長ニ出願スヘシ

但シ出願人會社ナルトキハ其ノ會社ノ登記簿本及定款ノ謄本ヲ添附スヘシ

他人ヲシテ使用セシムヘキ私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケントスル者ニ在リテハ特許ノ出願ト同時ニ使用規則及使用料ノ認可ノ申請ヲ爲スヘシ

第十六條 保税工場ニ於テ内國貨物ニ加工シ又ハ之ヲ原料トシテ製造ヲ爲サントスル者ハ其ノ作業ノ種類及其ノ作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類ヲ記シタル書面ヲ以テ税關長ニ出願スヘシ

第十七條 私設保税工場ノ特許期限ハ特許ノ日ヨリ二十年以内トス
特許期限ハ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得但シ其ノ期限ハ更新ノ日ヨリ二十年以内トス

第十八條 私設保税工場ノ地區ノ面積若ハ建設物ヲ増減シ又ハ建設物ヲ改築シ若ハ其ノ構造ヲ變更セントスルトキハ税關長ノ承認ヲ受クヘシ建設物ヲ修繕シ又ハ其ノ造作ヲ變更セントスルトキ亦同シ

前項ノ建設物ノ改築若ハ構造ノ變更又ハ其ノ増減ノ承認ヲ受ケタル者ハ工事落成ノ際税關ニ届出テ其ノ建設物ノ検査ヲ受クヘシ

第十九條 私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケタル者特許期限内ニ廢業セントスルトキハ其ノ旨ヲ豫メ税關長ニ届出ツヘシ

第二十條 私設保税工場設置ノ特許消滅シタル場合ニ於テ其ノ業務ヲ引繼カントスル者ハ第十五條ノ規定ニ準據シ税關長ニ出願スヘシ

第二十一條 私設保税工場ノ作業ノ種類又ハ作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類ヲ變更セントスルトキハ税關長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條 私設保税工場又ハ其ノ藏置貨物ニ異狀アルトキハ特許ヲ受ケタル者ハ直ニ其ノ旨ヲ税關ニ届出テ税關官吏ノ臨檢ヲ受クヘシ

第二十三條 私設保税工場ノ藏置貨物盜難ニ罹リ又ハ紛失シタルトキハ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ貨物ニ對スル輸入税ヲ納付スヘシ

第二十四條 私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ防火設備其ノ他設置貨物ノ保全上必要ナル設備ヲ爲スヘシ
第二十五條 私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ税關長ノ指揮ニ從ヒ貨物ノ検査上必要ナル場所ヲ設ケ其ノ他適當ノ設備ヲ爲スヘシ

第二十六條 私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ貨物ノ検査ニ關シ一切ノ利便ヲ與フルノ義務アルモノトス

第二十七條 私設保税工場ニハ二重鎖鑰ヲ設ケ其ノ鑰一箇ハ之ヲ税關ニ預クヘシ

第二十八條 私設保税工場ヲ開閉シ又ハ貨物ノ出入ヲ爲ストキハ税關官吏ノ立會ヲ受クヘシ

第二十九條 私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ業務ニ從事スル者ノ氏名ヲ税關ニ届出ツヘシ其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第三十條 官設保税工場内ニ於テ貨物ノ取扱ニ從事スヘキ人夫ハ實主ヨリ豫メ税關ニ届出テ其ノ承認ヲ受クヘシ

第三十一條 私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ雇入及其ノ使用スル人夫ニシテ保税工場ノ構内ニ出入スル者ニ對シ相當ノ取締ヲ爲スヘシ

第三十二條 私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ貨物ニ關スル帳簿ヲ設ケ左ノ事項記テ載スヘシ

一 保税工場ニ移入シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量、價格及移入ノ年月日

二 改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲シタル貨物及之ニ使用シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量、價格、手入ノ種類及検査済ノ年月日

三 加工又ハ製造ノ原料ニ使用シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量及價格

四 加工又ハ製造シタル貨物並副産物ノ品名、數量、及検査済ノ年月日

五 保税工場法第一項但書ノ規定ニ依リ課税セラレタル貨物ニ在リテハ其ノ品名、箇數、數量、價格及其ノ原料ニ使用シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量及價格

六 保税工場ヨリ移出シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外國貨物ノ區別、箇數、數量、價格、移出ノ目的及移出ノ年月日

第三十三條 私設保税工場設置ノ特許ヲ受ケタル者ハ税關ノ要求アルトキハ何時ニテモ其ノ業務ニ關スル諸般ノ報告ヲ爲スヘシ

第三十四條 保税工場法第十條ニ於テ準用スル保税倉庫法第二十七條ノ公告ハ當該税關ニ揭示スル外三日以上官報ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三十五條 官設保税工場ニ設置シタル貨物ニ係ル運搬費其ノ他貨物取扱ノ費用ニシテ税關ニ辨償スヘキモノハ貨物移出ノ際之ヲ納付スヘシ

第三十六條 税關官吏ハ貨物ノ加工又ハ製造ニ關シ職務上知得シタル事項ヲ他ニ漏洩スルコトヲ得ス

本令ハ昭和二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年大藏省令第十八號ハ之ヲ廢止ス

(様式略)

第六 農業倉庫業法 (大正六年七月二十一日法律第十五號、大正十五年三月二十七日、法律第三十二號ヲ以テ改正)

第一條 本法ニ於テ農業倉庫業者トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ謂フ

- 一 農業ヲ營ム者カ其ノ生産シタル穀物、繭其ノ他勸令ヲ以テ指定スル物品ヲ所有スル場合又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者カ

小作料トシテ受ケタル穀物其ノ他勅令ヲ以テ指定スル物品ヲ所有スル場合ニ於テ其ノ者ノ爲ニ本法ニ依リ之ヲ倉庫ニ保管スル者

二 販賣組合又ハ販賣組合聯合會カ賣却スル滿チ其ノ者ノ爲ニ本法ニ依リ倉庫ニ保管スル者

前項ニ規定スル寄託物ニ付所有權ノ移轉アリタルトキト雖農業倉庫業者ハ其ノ寄託物ノ保管期間内ニ限り之ヲ保管スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ前二項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り業務規程ノ定ムル所ニ依リ前三項ノ規定ニ依ラス物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得

第二條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ前條ノ事業ノ外左ノ事業ヲ爲スコトヲ得

一 受寄物ノ調製、改製又ハ荷造ヲ爲スコト

二 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立ヲ爲スコト

三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次ヲ爲スコト

四 自己ノ作成シタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト

五 受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託シタル場合ニ於テ其ノ物品ノ聯合農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト

六 他ノ農業倉庫業者カ擔保トシテ受取リタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコト

第三條 農業倉庫業者ハ營利ノ目的トシテ其ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 産業組合、農會、農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人並市町村及之ニ準スヘキモノニ非サンハ第一條第一項第一號ノ農業倉庫業者タルコトヲ得ス

命令ヲ以テ指定スル産業組合聯合會ニ非サレハ第一條第一項第二號ノ農業倉庫業者タルコトヲ得ス

第五條 農業倉庫業者タル産業組合又ハ産業組合聯合會ハ産業組合法ニ規定スルモノノ外第一條及第二條ニ規定スル事業ヲ目的ト爲スコトヲ得

前項ノ産業組合又ハ産業組合聯合會ハ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ニ非サル者ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號乃至第六號ノ事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス農業倉庫業者タル農會又ハ公益法人ハ第二條第四號乃至第六號ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 農業倉庫業者タラムトスル者ハ業務規程ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受ケヘシ

第七條 農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ種類及品位ノ同一ナル寄託物ヲ混合シテ保管スルコトヲ得

第七條ノ二 農業倉庫業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ寄託物ノ倉荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

商法第三百八十三條ノ二第二項及第三百八十三條ノ三ノ規定ハ前項ノ倉荷證券ニ之ヲ準用ス

第八條 農業倉庫業者ノ作成スル倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ要ス

農業倉庫業者ニ非サル者ノ作成スル預證券及質入證券又ハ倉荷證券ニハ農業倉庫證券ナル文字ヲ記載スルコトヲ得ス

第九條 混合保管ノ場合ニ於テハ農業倉庫業者ハ農業倉庫證券ニ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第十條 寄託物ノ保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六月以内トス

第一條第一項ニ規定スル寄託物ニ付テハ保管期間ヲ更新スルコトヲ得但シ寄託者ハ更新ノ際同條第一項ニ掲クル者タルコトヲ要シ其ノ期間ハ六月ヲ超ユルコトヲ得ス

第一條第三項ニ規定スル寄託物ニ付テハ同條第一項及第二項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り保管期間ヲ更新スルコトヲ得其ノ期間ハ前項但書ニ同シ

第十一條 商法第三編第五章乃至第七章第三百七十五條乃至第三百七十八條及第三百八十一條乃至第三百八十三條ノ規定ハ本

法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

第十二條 商法第三百七十六條ノ規定ハ受寄物ノ調製、改裝又ハ荷造ニ關シ農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス

第十三條 農業倉庫業者業務規程ヲ變更セムトスルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條 農業倉庫業者ニハ所得稅、營業收益稅及營業稅ヲ課セス

第十四條ノ二 農業倉庫業者ノ農業倉庫又ハ其ノ敷地ニ關スル權利ノ取得ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ス

第十五條 行政官廳公益上必要ト認ムルトキハ農業倉庫業者ニ對シ其ノ指定スル穀物又ハ滿ノ寄託ヲ受ケ受寄物ノ検査其ノ他ノ行爲ヲ爲スヘキコトヲ得

第十六條 行政官廳ハ農業倉庫業者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ業務執行者ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條 行政官廳農業倉庫業者ノ業務執行者ハ財産ノ狀況ニ依リ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ、農業倉庫業者ノ行爲

方法令若ハ業務規程ニ違反シタルトキ又ハ其ノ行爲カ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ事業ノ停止ヲ命ジ又ハ認可ヲ取消スコトヲ得

第十八條 農業倉庫業者タル法人ノ理事又ハ之ニ準スヘキ者本法又ハ本法ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ違反シタルトキハ十圓

以上千圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第十九條 本法ニ於テ聯合農業倉庫業者トハ農業倉庫業者カ第一條第一項及第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ヲ本法ニ依リ倉庫ニ保管スル者ヲ謂フ聯合農業倉庫業者ハ他ノ聯合農業倉庫業者カ前項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ヲ保管スルコトヲ得

聯合農業倉庫業者ハ前二項ノ規定ニ依リ保管ニ支障ナキ場合ニ限り業務規程ノ定ムル所ニ依リ農業倉庫業者カ第一條第三項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品又ハ販賣組合若ハ販賣組合會カ賣却スル物品ヲ保管スルコトヲ得他ノ聯合農業倉庫業者カ本項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品ニ付亦同シ

第二十條 產業組合聯合會ニ非サレハ聯合農業倉庫業者タルコトヲ得ス

第二十一條 聯合農業倉庫業者タル產業組合聯合會ハ產業組合法ニ規定スルモノノ外第二條(第二十六條第一項ノ規定ニ依リ準用)及第十九條ニ規定スル事業ノ目的ト爲スコトヲ得

前項ノ產業組合聯合會ハ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附隨トシテ所屬組合又ハ所屬聯合會ニ非サル組合又ハ聯合會ノ爲ニ之ヲ爲スコトヲ得但シ第二條第四號乃至第六號(第二十六條第一項ノ規定ニ依リ準用)ノ事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條 農業倉庫業者カ寄託者又ハ農業倉庫證券ノ所持人及受寄物ノ質權者アル場合ニ於テハ其ノ質權者ノ承諾ヲ得テ其ノ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託シタル場合ニ於テハ其ノ寄託ニ因リ生シタル農業倉庫業者ノ權利義務ハ當初ノ寄託者又ハ農業倉庫證券ノ所持人ニ移轉シ當初ノ寄託ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二十三條 農業倉庫業者者カ其ノ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託セムトスル場合ニ於テ其ノ受寄物ノ農業倉庫證券アルトキハ將來ニ向テ其ノ證券ノ裏書ヲ禁止スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ前項ノ證券ノ裏書ヲ禁止スルニ非サレハ受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託スルコトヲ得ス

第二十四條 聯合農業倉庫業者ハ其ノ受寄物ノ農業倉庫證券ナキ旨ヲ農業倉庫業者ノ證明書又ハ前條第二項ノ規定ニ依リ裏書ヲ禁止セラレタル證券ト引換ニ非サレハ其ノ受寄物ノ聯合農業倉庫證券ヲ交付スルコトヲ得ス

第二十五條 前三條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ他ノ聯合農業倉庫業者ニ寄託スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 第二條、第三條、第六條乃至第九條、第十條第一項及第十一條乃至第十八條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス但シ第二條第六號中農業倉庫業者トアルハ農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者、農業倉庫證券トアルハ農業倉庫證券又ハ聯合農業倉庫證券トシ第八條中農業倉庫證券トアルハ聯合農業倉庫證券トス

第十條第二項ノ規定ハ第十九條第一項又ハ第二項ニ規定スル寄託物ニ、同條第三項ノ規定ハ第十九條第三項ニ規定スル寄託物ニ之ヲ準用ス但シ聯合農業倉庫業者カ第十九條第一項及第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル第一條第二項ノ物品ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正十五年法律第三十二號ハ大正十五年七月十四日勅令第二百五十七號ヲ以テ大正十五年九月一日ヨリ施行)

本法施行ノ際現ニ農業倉庫業者カ從前ノ第一條第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

本法施行ノ際現ニ存スル預證券及質入證券ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第七 農業倉庫業法施行規則

(大正六年八月十五日農商務省令第十五號、大正九年六月八日農商務省令第六號並ニ大正十五年農林省令第十九號ニテ改正)

- 第一條 農業倉庫業者ノ認可申請書ニハ業務規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ
 - 一 申請ノ理由
 - 二 倉庫ニ於テ取扱フヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定
 - 三 倉庫ノ所在地

四 倉庫ノ棟數、建坪、主要ナル構造又ハ工事及收容量並倉庫經營ニ要スル敷地ノ面積ニ關スル事項

五 倉庫及敷地ハ申請者ノ所有ニ係ルモノナリヤ否ヤノ別及所有ニ係ラサルモノニ付テハ其ノ使用ノ權利ニ關スル事項

六 倉庫ハ既設ノモノナリヤ否ヤノ別並新ニ建築、改築又ハ修繕ヲ爲スモノニ付テハ其ノ竣工ノ豫定期日及既設ノモノニ付テハ建築ノ時期

七 附屬ノ設備ニ關スル事項

八 貸付事業ヲ爲ス場合ニ於テハ貸付金總額ノ豫定及其ノ調達方法

九 起業費及一箇年ノ收支概算

十 申請者タル法人ニ於テ農業倉庫開始ノ決定ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ決定ヲ證スル書面

十一 公益法人ニ存リテハ定款又ハ寄附行爲及財産目録

十二 農業倉庫法第一條第一項條二號ノ農業倉庫業者タラムトスル者ニ在リテハ其ノ區域内ニ於ケル販賣組合及販賣組合聯合會ノ賣却スル總量

第二條 農業倉庫業者ノ業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

一 事業ノ種類及農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依ル保管ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨

二 保管スヘキ物品ノ名稱

三 農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位並同條第一項及第二項ノ規定ニ依ル保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第三項ノ規定ニ依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位

四 保管ノ方法及保管上特殊ノ作業ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ作業

第九章 參考法規及參考書 農業倉庫法施行規則

- 五 保管料ニ關スル規定
 - 六 保管期間ニ關スル規定
 - 七 聯合農業倉庫業者又ハ倉庫業者ニ受寄物ノ寄託ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨及寄託スヘキ聯合農業倉庫業者又ハ倉庫業者ノ名稱
 - 八 受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ寄託スル場合ニ於ケル受寄物及農業倉庫證券ノ取扱並受寄物ヲ聯合農業倉庫業者ニ引渡ス迄ノ間ニ於ケル危険ノ負擔ニ關スル規定
 - 九 受寄物ノ入庫及出庫ニ關スル規定
 - 十 證券發行ニ關スル規定
 - 十一 保險ニ關スル定アルモノニ付テハ之ニ關スル規定
 - 十二 避クヘカラサル事由ニ依ル減量ノ負擔ニ關スル規定
 - 十三 受寄物ノ検査ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
 - 十四 農業倉庫法第二條ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
 - 十五 産業組合又ハ産業組合聯合會ニ於テ組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ニ非サル者ノ爲ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
 - 十六 剩餘金又ハ損失金ニ關スル規定
- 第三條 混合保管ヲ爲スモノニ在リテハ前條ノ事業ノ外業務規程中ニ左ノ事項ヲ規定スヘシ
- 一 混合保管ノ範圍
 - 二 受寄物ノ返還ニ關スル規定

- 第四條 農業倉庫法第四條第二項ノ規定ニ依リ農業倉庫業者タルコトヲ得ル者ハ滿ノ販賣ヲ目的トスル販賣組合聯合會ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル
- 一 共同滿倉庫及共同乾滿裝置助成規則ニ依リ共同滿倉庫ノ助成金交付ノ許可ヲ受ケタル者ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル倉庫ヲ有スル者
 - 二 共同滿倉庫及共同乾滿裝置助成規則ニ依リ共同滿倉庫ノ助成金ノ交付ヲ受ケル倉庫ニ準スヘキ規模及構造ヲ具備スル倉庫ヲ有スル者
- 第五條 農業倉庫業者ニ非サレハ其ノ名稱中ニ農業倉庫ナル文字ヲ用ウルコトヲ得ス
 - 第六條 農業倉庫業者ハ農業倉庫法第一條第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ同條第一項及第二項ノ規定ニ依リ保管スル物品ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ
 - 第七條 農業倉庫業者倉庫ノ所在地、棟數、建坪又ハ收容力ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ
 - 第八條 農業倉庫業者ハ事業年度終了後三月内ニ前年度ノ收支計算書及事業報告書ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
 - 第九條 農業倉庫業者事業施行ニ關スル規程ヲ設ケタルトキハ運滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ
 - 第十條 農業倉庫業者事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ運滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ休止セタル事業ヲ開始シタルトキ亦同シ
- 第十一條 聯合農業倉庫業者ノ認可申請書ニハ業務規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ
- 一 第一條第一號乃至第十號ニ掲グル事項
 - 二 申請者ノ所屬組合又ハ所屬聯合會ニシテ農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者タルモノカ一年間ニ保管スル物品ノ種類別數量及申請者ニ寄託スヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定

三 申請者ノ所屬販賣組合又ハ所屬販賣組合聯合會カ一年間ニ賣却スル物品ノ種類別數量及申請者ニ寄託スヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定

第十二條 聯合農業倉庫業者ノ業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

一 事業ノ種類及農業倉庫業法第十九條第三項ノ規定ニ依ル保管ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨

二 第二條第二號、第四號乃至第十三號及第十六號ニ掲クル事項

三 農業倉庫業法第十九條第三項ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位並同條第一項及第二項ノ規定ニ依ル保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第三項ノ規定ニ依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位

四 農業倉庫業法第二條(同法第二十六條第一項ノ規定ニ依リ準用)ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定

五 所屬組合又ハ所屬聯合會ニ非サル組合又ハ聯合會ノ爲ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定

六 聯合農業倉庫業者カ農業倉庫業法第二十四條ノ規定ニ依リ聯合農業倉庫證券ト引換ニ受取リタル農業倉庫證券又ハ聯合農業倉庫證券ノ取扱ニ關スル規定

第十三條 聯合農業倉庫業者ハ農業倉庫業法第十九條第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ同條第一項及第二項ノ規定ニ依リ保管スル物品ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第十四條 第三條、第五條及第七條乃至第十條ノ規定ハ聯合農業倉庫業者ニ之ヲ準用ス但シ第五條中農業倉庫ナル文字トアルハ聯合農業倉庫ナル文字トス

第十五條 農業倉庫業法第六條及第十三條ノ行政官廳ハ地方長官トシ同法第十五條乃至第十七條ノ行政官廳ハ農林大臣及地方

長官トス但シ同法第十六條ノ行政官廳ハ北海道ニ於テ産業組合、産業組合聯合會、町村農會、郡農會又ハ町村若ハ之ニ準スヘキモノカ農業倉庫業者又ハ聯合農業倉庫業者タル場合ニ於テハ農林大臣、北海道廳長官及北海道廳支廳長トス

附則
本令ハ大正十五年法律第三十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第七條又ハ第十五條ノ規定ニ依リ公益法人ニ付地方長官廳ノ行フヘキ處分ハ當分ノ内農林大臣之ヲ行フ
〔備考〕 特殊倉庫ノ建設ヲ獎勵スル法規ニ、次ノ三種アリ。
一、農業倉庫獎勵規則(大正六年八月十五日農商務省令第六號、昭和三年六月二十九日農林省令第八號ニテ改正)
二、水産冷蔵獎勵規則(大正十二年五月十五日、農商務省令第十一號)
三、共同貯倉庫及共同乾藪裝置助成規則(農林省令)
(前記(三)ノ助成金ニ付キ昭和二年第一回分ヲ見ルニ、之ヲ受ケタル府縣ハ東京、群馬、奈良、愛媛各一、埼玉二、宮城三箇所ニシテ、其經營者ハ多ク産業組合ナレトモ、愛媛、奈良ノ如キ農業倉庫又東京府ノ如キ株式會社ナキニアラス、金額ハ多ク三萬圓餘ナルモ、又七萬五千圓位ノモノ、並ニ東京ノ會社ノ如ク十五萬圓餘ノモノアリテ、合計金四七〇、九一六圓ナリキ)

第八 保稅工場法第五條第一項ニ關スル件

大藏省令第三十九號(昭和二年十二月十日)
保稅工場法第五條第一項但書ノ規定ニ依リ検査ノ時ノ原料ノ性質及數量ニ依リ輸入税ヲ徵收セラルヘキ外國貨物ハ左ノ各號ニ掲クルモノトス
一、亜鉛鍍鐵板 二、鐵ノ釘又ハ線 三、銅又ハ眞鍮ノ釘又ハ線 四、珐瑯磁器 五、葉鐵製罐 罐詰用ノモノ
前項ノ規定ニ依リ輸入税ヲ徵收セラルベキ外國貨物ヲ輸入スル場合ニ於テハ其輸入スベキ貨物ノ製造ニ因リ生シタル副産物ノ輸入ニ付テモ前項ノ例ニ依リ其輸入税ヲ徵收ス

第九章 參考法規及參考書 保稅工場法第五條第一項ニ關スル件

第九 參 考 書

〔甲〕日本ノ部 倉庫ニ關スル文獻ハ内外共ニ比較的僅少ニシテ、殊ニ倉庫全般ニ亙リ、商業學的ニ説述シタルモノハ其數少キカ如シ、次ニ示スハ著者ノ知り得タル重ナルモノナリ。

〔A〕一般的ノ著書

(一) 岩崎昌 税關及倉庫(明治三十三年二月)

(本書ハ博文館ノ百科全書中ノ一部トシテ刊行セルモノニテ、想フニ我邦ニ於ケル此種ノ著書ノ嚆矢ナルヘキモ、現今ハ絶版ト爲レリ。)

(二) 小林行昌 倉庫及税關(明治四十二年五月)

(本書ハ嘗テ早稻田大學商業講義ナル講義録中ニ連載シタル講義ヲ、巖松堂主人波多野君ノ依頼ニ依リ、改訂シテ著書ト爲セルモノナルカ、其後分冊シテ倉庫編及税關編ノ二編トナシ、倉庫編ハ舊著ノ證券法律論ヲ省キ、更ニ新資料ヲ加ヘ、漸次改訂シ倉庫論ト改稱シテ之ヲ刊行スルニ至レリ。)

(三) 内池廉吉 倉庫經營論(大正三年十月)

(本書ハ明治四十一年五月ノ出版ニ係リ、大正三年十月之ヲ改訂シタルモノニシテ、其後モ訂正セラレタルヘシ、著者ハ多年斯業ヲ研究シ、別ニ農産物倉庫論ノ著アリ、時ニ臨ミ雜誌ニモ有益ナル論文ヲ寄セラレタルコトアリ、本書ハ内外ノ倉庫業全般ニ亙リテ評論セルモノニテ、一般的ノ著書中白眉ノモノナルヘシ、此他著者ノ書物ニハ明治大學出版部發行ノ「倉庫論」(明治四十四年)アリ、獨人「フイツシヤ」ノ著書ヲ解説セルモノナリ。

(四) 渡部明 倉庫業(大正三年六月)

(新業ヲ簡明ニ解説シタル良著ナリ、是亦訂正ノ新版之アルヘシ。)

(五) 山本五郎 倉庫及倉庫業

(六) 杉村倉庫 倉庫ニ關スル諸「パンフレット」

(第一號) 片山元彦譯 倉庫營業及保管

(第四號) 桑野豊助著 日本倉庫業史

(第六號) 棗田藤吉著 倉庫ト商品取引所トノ關係

(第七號) 片山元彦著 倉庫業者ノ費用計算法

(七) 内池廉吉 倉庫業及倉庫證券(同文館發行「商業大辭書」第二卷一、〇一七頁以下)

(八) 報知社 倉庫史(大正七年報知新聞社、一萬五千號記念發行「最近商工史」第二編、第七章、一七五頁以下)

(九) 小林行昌 明治大正ノ倉庫史(實業ノ世界社發行、明治大正ノ經濟史)

〔B〕倉庫證券ニ關スル著書

(一) 草鹿丁卯次郎譯 倉庫證券論 明治三十八年八月)

(本書ハ瑞西「フライブルヒ」大學「ドクトル、フォン、コスタネツキ」原著、一九〇二年柏林出版ノ Dar Lagerchein als Traditionen in ajter ナ、住友倉庫ノ草鹿氏カ翻譯セルモノナリ。)

(二) 安河内升 倉庫證券ノ研究(大正十四年五月)

(本書ハ東神倉庫會社々員ナル安河内氏ノ著書ニシテ、主トシテ倉庫業就中倉庫證券ニ關スル法律論ナリ。)

第九章 參考法規及參考書 參考書

- (三)辻岡喜代治 倉庫證券論(大正十四年十月)
(著者ハ住友倉庫ノ社員ニテ、是亦倉庫證券ノ法律論ナレハ、前書ト並ンテ證券法理研究ノ好資料タルヘシ。)
- (C)倉庫法規ニ關スル著書
- (一)齋藤助堯 倉庫法釋義(大正十三年三月)
(著者齋藤法學士ハ日本郵船會社ノ社員トシテ調査部ニ屬シ、本書ハ「商法倉庫編」「保稅倉庫法」「假置場法」「農業倉庫法」ノ四部ニ分チテ條文ヲ解釋シ、尙ホ附屬諸法令ヲモ添附セリ。)
- (二)花岡敏夫 我法律上ヨリ觀タル倉庫ト金融(明治四十年八月)
- [D]農業倉庫ニ關スル著書
- (一)岡本 龍海 米券倉庫ノ經營(大正二年)
- (二)中村 貞介 米券倉庫事業方法成績(大正三年)
- (三)鈴木 富治 米券倉庫要說(大正四年六月)
(以上三種共ニ舊米券倉庫ニ關スルモノニテ、大要ヲ知ランニハ鈴木氏ノ著書ヲ便トスヘシ。)
- (四)内池 廉吉 農產物倉庫論(大正六年十月)
- (五)法律新聞社 農業倉庫業法制定理由(大正六年十月)
- (六)河田 嗣郎 農業倉庫論(大正七年)
- (七)橋田 丑吾 農業倉庫經營論(大正七年)

- (八)神奈川縣農會 農業倉庫法註釋(大正七年)
- (九)農商務省農務局 農業倉庫綱要(大正七年)
- (十)同前 農業倉庫事例(大正七年)
- (十一)同前 穀物倉庫ノ建築要項(大正八年)
- (十二)同前 第三回農業倉庫主任官協議會要錄(大正十年)
- (十三)同前 農業倉庫經營事例(大正十四年)
- (十四)帝國農會 農業倉庫經營理事者養成講習會講演集(第二卷)(大正九年)
- (十五)農商務省食糧局 穀物貯藏設備ニ關スル調査(大正十三年六月)
(本報告ハ、同省囑託、工學士松井清足氏カ歐米各國ノ穀物貯藏設備ヲ調査シ、之ヲ報告シタルモノニテ、就中「シロ」若ハ「ビン」ノ説明ヲ主トシ、穀物ノ壓力ニ關シ科學的説明アリ。)
- (十六)井上龜五郎 農業倉庫ノ經營(昭和二年二月)
(著者ハ縣技師、農會ノ技師若クハ幹事、産業組合、農業倉庫指導、穀物検査所長等ノ職ニ在リ、多年經驗ノ餘ニ成レルモノニテ、我邦ニ於ケル實務ノ參考書トシテハ蓋シ出色ノモノタルヲ失ハザルベシ。)
- [E] 保稅倉庫及保稅工場ニ關スル著書
- (一)太田正孝 保稅制度論(大正十一年十一月)
(保稅制度ニ關スル法律論ニテ各國ノ法制ヲ比較シテ詳論セリ。)

(F) 雜誌及新聞

右ノ外、東京及大阪ノ銀行通信錄、國民經濟雜誌、東洋經濟新報、内外論叢、法學協會雜誌、法學志林、國家學會雜誌、大日本農會々報、日本農業雜誌、帝國農會々報、產業組合、中外產業新報、大阪朝日新聞、報知新聞等ニ有益ナル論文アリ、是等ハ次ノ二書ニ就テ觀ラルヘシ。

(イ) 神戸高等商業學校商業研究所編纂「經濟、法律文獻目錄」(實文館發兌)七八六頁以下。

(ロ) 内池 廉吉 倉庫經營論(附錄)

〔乙〕外國ノ部

(1) H. A. Haring—Warehousing, Trade Customs and Practices, Financial and Legal Aspects, (New York, 1925).

(本書ハ本文七百六十餘頁ニ及フ大著述ニシテ、章ヲ分ツコト二十六、倉庫業ノ發達ヨリ説キ起シ、其職能、家財及商品倉庫、保税倉庫及其他ノ倉庫、運賃ト倉庫業、銀行關係、法律關係、保險ト倉庫業、米國倉庫法、倉庫ノ實務、商品倉庫ノ法規、冷蔵倉庫、棉花倉庫、穀物倉庫、煙草倉庫及羊毛倉庫ヲ詳論シ、最後ニ取引所ト斯業トノ關係ヲ述ベ、所々ニ必要ナル書式ヲ挿入シ居レリ、米國ハ斯業ノ最モ發達セル國ナレバ、本書ハ有益ナル參考書タルニ相違ナキモ、米國以外ノ制度トノ比較極メテ稀ナルハ遺憾ナリト謂フベシ。

(2) H. B. Twyford—Storing, its Economic Aspects and Proper Methods, (New York, 1918).

(3) Department of Commerce and Labor—Warehouses in Foreign Countries, (Washington, 1905).

(4) B. H. Thwaite—Our Factories, Workshops, and Warehouses, Their Sanitary and Fire-resisting Arrangements(London, 1882)...

(5) Distribution and Warehousing(a magazine, published monthly at New York, \$ 2.00 per year).

(6) Barry Mohnn—A Compilation of Warehouse Laws and Decisions, (New York, 1904).

此他商業辭彙、經濟辭彙、商事要項、「マーケティング」等ノ書中ニ斷片的ニ記述セルモノアリ、例ヘハ次ノ如シ。

(7) Pitman's Commercial Encyclopedia.

(8) W. U. S. Knight—The Business Encyclopedia and Legal Adviser.

(9) R. H. Inglis Palgrave—Dictionary of Political Economy.

(10) Gambaro and Gault—Lessons in Commerce(1911).

(11) James Stephenson—The Principles and Practice of Commerce.(Sec. VII)(London, 1922).

(12) L. D. H. Weld—The Marketing of Farm Products(Ch. VIII)(New York, 1915).

(13) E. G. Nourse—The Chicago Produce Market(Ch. V.)(Boston and New York, 1918).

米國ノ出版ニテ冷蔵庫ニ關スルモノハ、前記(1)(5)(12)(13)中ニ在ル分ノ外、専門的ノモノアリ、例ヘハ次ノ如シ。

- (14) G. K. Holmes—Cold Storage and Prices(1913).
- (15) do. —Cold Storage Business Features(1913).
- (16) do. —Prevention of Waste and Seasonal Price Fluctuation through Refrigeration(1913).
- (17) H. E. Barnard—Laws and Regulations Affecting the Storage of Perishable Food Products under Refrigeration in Public and Private Warehouses (Paper delivered at Third International Congress of Refrigeration, (1913).

獨文ノモノヲ示セン次ノ如シ。

- (18) Paul Gähre—Das Warenhaus(Frankfurt am Main, 1907).
- (19) O. C. Fischer—Die wirtschaftliche Entwicklung des Warrantverkehrs in Europa und America (Berlin, 1908).
- ^{*}(20) K. Adler—Dasösterreichisches Lagerhausrecht(Wien, 1892).
- (21) Cremer—Das Lagergeschäft(Hagen, 1897).
- (22) Goldberg—Lagerhausgeschäft und Lagerhausrecht(Leipzig, 1900).
- (23) Goldschmidt—Warrantrecht und Landwirtschaft in Frankreich,(1907).
- (24) V. Kostanecy—Lagerschein als Traditionspapier(Wien, 1892).
- (25) J. A. Levy—Der Warrant(Berlin, 1890).

- (26) J. Schetelich—Der Lagergeschäft mit Anschluss des Lagerscheines(Leipzig, 1906).
 - (27) F. Thiele—Die deutsche Lagerhausindustrie(Berlin, 1910).
 - (28) F. Thiele—Die Warenhandel und seine Technik(Leipzig, 1921).
 - (29) R. Debes—Das Lagerhaus St. Gallen (St. Gallen, 1910).
 - (30) R. Kaufmann—Der Lagerschein nach schweizerischen Recht(Berlin, 1924).
 - (31) L. Mayer—Betriebswirtschaftslehre des Lagerhausgeschäfts(Wien, 1927).
- (本書ハ埃國「ツァイム」ノ貿易學校ノ講師タル「マインナー」ノ近業ニシテ、書名「倉庫業經營經濟學」ノ示ガ如ク、主トシテ斯業ノ經營ヲ説キタルモノナレドモ、編ヲ二部ニ分チ、第一編ニ於テハ(A)倉庫業ノ概念及經濟的基礎、(B)倉庫業ノ沿革、(C)其經濟法律的組織、(D)倉庫證券ノ流通等、倉庫營業ノ「テクニク」ヲ説キ、第二編ニ於テハ倉庫事業ノ經營經濟的組織ヲ説明セリ、即チ(A)倉庫事業ノ一般的並ニ標準的ナル經營經濟的組織ノ特徵、(B)倉庫業ノ商業實務、(C)倉庫ニ於ケル會計及統制、(D)倉庫營業ノ原價計算ト料率ノ作成、(E)倉庫營業ニ關スル經營經濟的統計ヲ收メ、紙數五百餘頁ニ及ブ、商業學的著述トシテハ、蓋シ最モ適當ナルモノナラン。)

NON-ASSIGNABLE WAREHOUSE

CHUOSOKO KABUSHI

No. 4, Midoricho, Yokohama.

Wt.	Pkg.	Date of Warehousing.	Rate of charges.	Term.

Amount,

NT.

the signature and seal of its manager.

It shall be only those caused by Rain., Theft, or Unaccountable Disappearance, or the amount of the putrifaction, leakage or other decaying or damaged conditions, obliging him to take an immediate delivery of them or otherwise to make a sale, or to pay damages for the apprehended injury actually happening in consequence, or to sell them at public auction as the case may require. In case of sale, the depositor shall be liable for the disbursements, and expenses of the notification and auction as well as for the interest on the proceeds, but, if the proceeds are insufficient, he shall be liable to the company for the balance.

It shall be delivered in exchange with a uniform delivery-order of the company, and, if the goods are taken out of the store, this delivery-order shall be null and void. The interest on the goods, while reserved &c. of the goods shall be borne by the Depositor. At the expiration of the agreed period, the subsequent charges for the storage of the goods shall be borne by the Depositor.

According to Article 211, of the Commercial Code, when the Company is delivered, the Company will cause a proportionate reduction to be made between this Company and the fire insurance company and also to be made on or before the 15th day of a Calendar month and half the amount if necessary, in accordance with the provisions of the Commercial Code.

Yokohama,



中央倉庫株式會社

禁流通貨物預證券

第 號

受寄物	記號	荷造	數量		入庫日	保管期	事記	火災保險		割報合酬	場保所管
			均平	總量				金額	間期		
					昭和 年 月 日	昭和 年 月 日		自入庫日	金		
								東京火災海上運送保險株式會社			
								橫濱火災海上運送保險株式會社			
								明治火災海上運送保險株式會社			
								共同火災海上運送保險株式會社			
								日本火災保險株式會社			

右之貨物本券ノ約定ニ從ヒ正ニ預候出庫之節ハ本證券又ハ貴殿ノ出庫御指圖書引換ニ御渡可申候也

橫濱市磯町四番地
中央倉庫株式會社
支配人 殿

- 本證券ニ對スル寄託主ハ左ノ條項ヲ約諾シタルモノトス
- 一 本證券ハ必ズ社印ヲ捺シ支配人署名捺印ス
 - 二 本證券ハ讓渡ヲ禁ズ
 - 三 當會社ガ貨物受寄中ニ生シタル損害ニ對シ其實ニ任ズベキハ兩端荷盜紛失ノ場合ニ限ルモノトス
 - 四 貨物受寄中腐敗變質損傷等ニ因リ倉庫又ハ他ノ貨物ニ損害ヲ及ボスノ虞アルトキハ其旨ヲ寄託主ニ通知シ出庫又ハ相當ノ處分ヲ爲サシムベシ若シ寄託主ガ處分ヲ怠リタルトキハ寄託主ハ因テ倉庫又ハ他ノ貨物ニ生シタル損害ヲ賠償スベク又當會社ハ受寄物ヲ排棄シ若クハ競賣ニ付スルヲ得ベシ但シ競賣ニ付シタルトキハ其賣得金ヲ以テ保管料立替金償還並ニ競賣等ニ要シタル費用ヲ支拂ヒ其餘ヲ損害ノ賠償ニ充テ尙ホ剩餘アレバ寄託主ニ返付シ不足スルトキハ寄託主ニ對シ償還ヲ求ムルモノトス
 - 五 本證券記載ノ貨物ノ内受取ヲ請求スルモノアルトキハ當會社ハ寄託主ノ署名捺印シタル一定ノ出庫指圖書ト引換ニ受寄物ヲ引渡スベシ
 - 六 出庫指圖書ニ依リ其一部ノ出庫ヲ爲シ漸次受寄物ノ全部引渡済ノ上ハ本證券ノ効力ヲ失フモノトス
 - 七 貨物ノ出納運搬ハ勿論検査並ニ保存手入等ニ要シタル諸費用ハ總テ寄託主ノ負擔タルベシ
 - 八 保管滿期ニ至リ貨物ヲ受取ラザルカ又ハ寄託繼續ノ手續ヲ怠リタルトキハ滿期後ハ一倍ノ保管料ヲ申受クベシ且ツ商法第三百八十一條ノ規定ヲ適用スルコトアルベシ
 - 九 當會社ニ由リテ火災保險契約ヲ爲シタル受寄物ノ一部ヲ引渡シタルトキハ當會社ニ於テ其割合ニ應ジ其後ニ於ケル保險金額ヲ減少スベシ且ツ當會社ト火災保險會社トノ特約及ビ該火災保險會社ノ保險規則ヲ遵守スルモノトス
 - 十 月ヲ以テ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ月ノ十五日ヲ以テ全月半月ノ區別ヲ爲ス
 - 十一 本約定ニ記載ナキ事項ハ商法ニ依リ處分スベシ

前書ノ貨物正ニ受取候

昭和 年 月 日

庫 倉)

USHIKI KAISHA.

Yokohama, Kobe.

WARRANT.

Storage Charges.	@ ¥ 0.77 per bag per month.
Amount Insured.	¥ 802.80 ¥ 12.40 per bag.
Period of Insurance.	From the time of storage till the time of removal.
Underwriters.	Mitsubishi Fire Insurance Co.
Amount of Customs Duty.	1. @ ¥ 2.50 per 100Kin 0.85 2. @ ¥ 3.00 per 100Kin 0.15
Remarks.	Not responsible for shortage of contents.

I have received the above mentioned goods for storage subject to the terms of the warrant set forth on the back hereof; the goods to be delivered to the depositor on the surrender of this warrant.

This warrant is issued at the Company's Kobe Branch Office, this 2nd day of November in year 1929.

For the MITSUBISHI SOKO KABUSHIKI KAISHA.

Manager, Kobe Branch.

Date.	Signature of Transferrer.	Name of Transferee.

CHUOSOKO KABUSHIKI KAISHA

NON-ASSIGNABLE WAREHOUSE RECEIPT.

No.

Translation

M

Yokohama, Showa,

DEPOSITOR.

THE Company hereby certifies that it has duly received the undermentioned goods for Storage in good order and condition and subject to the terms of the Agreement specified in this Receipts, and shall deliver them in exchange with the Receipt or the Depositor's delivery orders duly signed and sealed by him.

Manager.

CHUO SOKO KABUSHIKI KAISHA.
No. 4, Midoricho, Yokohama.

No. of Godown.	Marks & Nos.	Contents.	Num. of Pkgs.	Weight.		Pkg.	Date of Warehousing.	Rate of charges.	Term.
				Avg.	Gro. Wt.				

Fire Insurance: Term, Amount,

Insurers,

REMARKS.

AGREEMENT.

- All Depositors of goods must and do hereby accept the following conditions:
1. This Warehouse Receipt issued by the Company will always bear its seal and the signature and seal of its manager.
 2. This Warehouse Receipt is not and shall not be assignable.
 3. The loss of or damage to the goods in deposit for which the Company is liable shall be only those caused by Rain, Theft, or Unaccountable Disappearance.
 4. Where injury to the store itself or other goods placed therein is apprehended on account of the putrefaction, leakage or other decaying or damaged conditions of the deposited goods or their packing, the company will notify the Depositor thereof asking him to take an immediate delivery of them or otherwise to make a necessary disposal. If the Depositor fails to comply with the Company's request, he shall pay damages for the apprehended injury actually happening in consequence. The company may, on its part, either throw away the said goods of the depositor or sell them at public auction as the case may require. In case of sale, the company, may apply the proceeds thereof towards the payment of its storage charges, disbursements, and expenses of the notification and auction as well as damages for the injury. Should there be a surplus, it shall be returned to the Depositor, but, if the proceeds are insufficient, he shall be liable to the company for the balance.
 5. In case a portion only of the goods covered by this Receipt is to be withdrawn, it shall be delivered in exchange with a uniform delivery-order of the Depositor duly signed and sealed by him.
 6. When the entire quantity of the deposited goods has, by means of part-deliveries under the depositor's delivery-orders, been taken out of the store, this Receipt shall thereby lose its force and effect.
 7. All the expenses incidental to the receiving, delivering, transporting, inspecting, preserving &c. of the goods shall be borne by the Depositor.
 8. When the goods are not cleared or steps are not taken to renew the contract of deposit at the expiration of the agreed period, the subsequent charges for storage shall be double the amount originally upon.
The Company may also proceed in accordance with the provisions of Art. CCCLXXXI, of the Commercial Code.
 9. When a portion of the goods under a contract of fire insurance made through the Company is delivered, the Company will cause a proportionate reduction to be effected on the insured amount. Special agreements existing at the time been between this Company and the fire insurance company and also the rules of the latter for insurance shall always be observed and followed.
 10. When fixed by month, the charge for storage shall be full amount if deposit is made on or before the 15th day of a Calendar month and half the amount if made after.
 11. Matters not expressly provided for in this Agreement shall be dealt with in accordance with the provisions of the Commercial Code

Yokohama,

Received all the Goods mentioned in this Receipt.

(號 二 第 式 書 庫 倉)

MITSUBISHI SOKO KABUSHIKI KAISHA.

KOBE BRANCH.

No. 46, Higashikawasakicho Ichome, Kobe.

(Bonded Warehouse.)

No. 1,212

WAREHOUSE WARRANT.

Marks and Nos., Number of Packages and Description of Goods.			Storage Charges.	@ ¥ 0.77 per bag per month.
ABK Seventy-two <72> bags Cup Sugar			Amount Insured.	¥ 802.80
Depositor. Messrs. Ohishi Shoten, Ltd.			Period of Insurance.	From the time of storage till the time of removal.
Name of Vessel.	S.S. "Tjibesar"	Date of bonding Permit.	Underwriters.	Mitsubishi Fire Insurance Co.
Date of bonding Permit.	November 26th, 1925.	Date of First Storage.	Amount of Customs Duty.	1. @ ¥ 2.50 per 100Kin 0.85 2. @ ¥ 3.00 per 100Kin 0.15
Mode of Packing.	In Bag	Date of First Storage.	Remarks.	Not responsible for shortage of contents.
Gross Weight or Measure.	161.10 Kin	Term of Deposit.	Till February 26th, 1926.	
Average Weight or Measure.	161.10 Kin	Place of Storage.	Yechizenbori Go town B	

DELIVERIES.

Date.	Quantity.	Receiver's Signature.	Actual dtd by the Company.

Received the above mentioned goods for storage subject to the terms of the Agreement set forth on the back hereof; the goods to be delivered to the depositor or order on the surrender of this warrant.

Made and issued at the Company's Kobe Branch Office, this 2th day of November in year 1925.

For the MITSUBISHI SOKO KABUSHIKI KAISHA.

Manager, Kobe Branch.

TRANSFERS.

Date.	Signature of Transferer.	Name of Transferee.

Notice! The holder of the warrant is deemed to have accepted the terms of the Agreement set forth on the back hereof.

Translation

M

THE Company hereby certifies that it has duly received the goods mentioned in the Receipt and subject to the terms of the Agreement specified therein the Receipt or the Depositor's delivery orders duly signed.

No. of Godown.	Marks & Nos.	Contents.	Num. of Pkgs.	Avail.

Fire Insurance: Term, Insurers,

REMARKS.

AGREEMENT.

- All Depositors of goods must and do hereby accept the following conditions:
- This Warehouse Receipt issued by the Company will always bear it.
 - This Warehouse Receipt is not and shall not be assignable.
 - The loss of or damage to the goods in deposit for which the Company is responsible shall be the responsibility of the Depositor.
 - Where injury to the store itself or other goods placed therein is apprehended, the company will notify the Depositor and the Depositor shall take necessary disposal. If the Depositor fails to comply with the Company's requirements, the company may, on its part, either throw away the said goods or sell them at a public auction. The company may apply the proceeds thereof towards the payment of its storage charges and damages for the injury. Should there be a surplus, it shall be returned to the Depositor.
 - In case a portion only of the goods covered by this Receipt is to be removed, the Depositor shall sign and seal the Receipt.
 - When the entire quantity of the deposited goods has, by means of this Receipt, been removed, the Receipt shall thereby lose its force and effect.
 - All the expenses incidental to the receiving, delivering, transporting, and storing of the goods shall be double the amount originally upon.
 - The Company may also proceed in accordance with the provisions of Article 10 of the Japanese Fire Insurance Law.
 - When a portion of the goods under a contract of fire insurance is removed, the insurance shall be effected on the insured amount. Special agreements existing at the time of the deposit shall always be observed and followed.
 - When fixed by month, the charge for storage shall be full amount if it is not made after.
 - Matters not expressly provided for in this Agreement shall be dealt with in accordance with the provisions of the Japanese Warehouse Receipt Law.

Received all the Goods mentioned in this Receipt.

橫濱稅關保稅倉庫預證券摘要

第 號

船名	
倉庫番號	
最初庫入時日	
陸揚時日	
本關庫入時日	
本証券發行時日	
貨主住所	
貨主氏名	
仕出場所(庫移又ハ運送ノ時)	
記號	番號
品名	
個數	數量
輸入稅額	
一ヶ月庫敷料	
見本取出時日	
本証券書換再渡又ハ貨物引取ニ因リ効力消滅ノ年月日	
本証券發行ノ時主任者印	
本証券効力消滅ノ時主任者印	

AGREEMENT.

The holder of this warrant is bound by the following conditions :—

1. The Company shall not be held responsible for loss of or damage to the goods deposited owing to the change of climate, sanitary or disinfecting processes, vermin, insects, rats, nature or defects of the goods, imperfect packing or unavoidable causes.
2. The Company is exempted from liability for any loss or damage caused by fire, if the underwriters are bound to indemnify for such loss or damage, or if no insurance has been effected on such goods by the Company at the desire of the depositor, provided always that such loss or damage has not been caused by gross negligence on the part of the Company.
3. When a part of the goods deposited on which fire insurance has been effected is withdrawn from the warehouse, the amount of insurance shall be proportionally reduced.
4. When the holder of this warrant claims the compensation against the Company for loss of or damage to the goods deposited, he is to prove that the Company has failed to use due care about the safe custody of the goods.
5. The amount to be compensated by the Company shall be limited to the insured amount in case of the goods deposited being insured through the Company, otherwise to the value declared at the time of their deposit or, if the market price at the time of loss of or damage to the goods is below the insured amount or the declared value mentioned above, to the said market price.
6. The fire insurance against the goods deposited is subject to the contract agreed upon between the Company and the underwriters.
7. If any apprehension exists of damage being done to the warehouse building or of injuries to other goods stored therein in consequence of the decay or deterioration of the goods and change in their form or nature, the holder of this warrant shall be notified to remove the goods. And if any damage is actually done to the warehouse building or to other goods stored therein owing to the delay, neglect or refusal on the part of the holder of this warrant to comply with the Company's request, the goods shall be sold by auction and the proceeds thereof shall, after deducting the expenses of the auction, the charges for storage and all other expenses, be applied to the compensation for such

damage. If the proceeds of the auction are insufficient to cover these payments, the holder of this warrant shall make good the deficit.

8. Any holder of this warrant desiring to withdraw a part of the goods may take delivery of such part by producing this warrant together with the permit of the custom-house therefor and by paying such storage charges, disbursements and other expenses relating to the goods as proportional to the part to be withdrawn.
9. Taxes, storage charges, disbursements, or expenses relative to delivery, transport, inspection, samples, sanitary or disinfecting process and preservation or disposition of the goods deposited shall be borne by the holder of this warrant.
10. Storage charges shall be payable as follows :—
 - (A) Goods deposited on or before, or withdrawn after the fifteenth day of a calendar month shall be charged for as for a full month.
 - (B) Goods deposited after, or withdrawn on or before the fifteenth day of a calendar month shall be charged for as for a half month.
11. In the event of any holder of this warrant failing to clear the goods or to renew the deposit or remove them to a general warehouse, on the expiration of the terms of deposit mentioned in this warrant or in the Bonded Warehouse Law or after the process of importation has been completed before such expiration, the Company shall remove the goods to a general warehouse under the permission of Custom House and store them according to the Company's general Business Regulation and charge double rate, mentioned in this warrant, for storage after such removal. In the above case, notice may be given to the holder of this warrant by means of letter or an advertisement, calling for the withdrawal of the goods. If the goods be not withdrawn in spite of such notice, the Company may dispose of such goods in accordance with the provisions of Art. 381 of the Commercial Code.
12. Any notice to be given by the Company to the holder of this warrant may be done in the newspapers used for advertising purposes by the Court of Registration under whose jurisdiction the warehouse is situated.
13. All matters not provided for herein shall be subject to the Storage Regulations of the Private Bonded Warehouse of the Company.

(倉庫書式第三號)

No. 橫濱稅關保稅倉庫預證券 第 號

WARRANT OF THE YOKOHAMA CUSTOMS BONDED WAREHOUSE

Received the undermentioned goods on storage in the Bonded Warehouse No. of this Customs.

Director of Customs, Yokohama. Date 19

Name of Vessel Date of First Storage, 19 Dae of Landing, 19 Date of Storage, 19

Name of Depositor Address

住所 貨主 本關庫入 陸揚入 最初庫入 船名

昭和 稅倉庫ニ預リタルコトヲ證ス 下ニ記載ノ貨物ハ當關第 號保

Table with 7 columns: Marks, Numbers, Number of Packages, Names of Articles, Quantities, Amount of Import Duties, Storage of One Month.

橫濱稅關保稅倉庫預證券摘要

第 號

Summary table with fields: 船名, 倉庫番號, 最初庫入時日, 陸揚時日, 本關庫入時日, 本証券發行時日, 貨主住所, 貨主氏名, 仕出場所(庫移又ハ運送ノ時), 記號, 番號, 品名, 個數, 數量, 輸入稅額, 一ヶ月庫敷料, 見本取出時日, 本証券書換再渡又ハ貨物引取ニ因リ効力消滅ノ年月日, 本証券發行ノ時主任者印, 本証券効力消滅ノ時主任者印

The holder of this warrant is bound by the following conditions:—

- 1. The Company shall not be held responsible for damage to the goods deposited owing to climate, sanitary or disinfecting processes, rats, nature or defects of the goods, unavoidable causes.
2. The Company is exempted from liability for damage caused by fire, if the underwriter has indemnified for such loss or damage, provided always that the same has not been caused by gross negligence of the depositor, provided always that the same has not been caused by gross negligence of the Company.
3. When a part of the goods deposited has been effected is withdrawn from the amount of insurance shall be proportionately reduced.
4. When the holder of this warrant claims against the Company for loss of or damage to goods deposited, he is to prove that the Company has used due care about the safe custody of the goods.
5. The amount to be compensated by the Company is limited to the insured amount in case the goods being insured through the Company have been declared at the time of their deposit to be insured at the time of loss of or damage to the insured amount or the declared value of the said market price.
6. The fire insurance against the goods deposited is to the contract agreed upon between the holder and the underwriters.
7. If any apprehension exists of damage to the warehouse building or of injuries to other goods in consequence of the decay or deterioration and change in their form or nature, the holder of this warrant shall be notified to remove the goods if damage is actually done to the warehouse or other goods stored therein owing to the refusal on the part of the holder of the warrant with the Company's request, the goods shall be sold by public auction and the proceeds thereof shall be applied to the expenses of the auction, the charges and other expenses, be applied to the same.

(號四第式書庫倉)

全國主要倉庫累年保管殘高調

年次	一 月			二 月			三 月			四 月			五 月			六 月			七 月			倉庫數
	倉庫數	個數	價額	倉庫數	個數	價額	倉庫數	個數	價額	倉庫數	個數	價額	倉庫數	個數	價額	倉庫數	個數	價額	倉庫數	個數	價額	
明治四十一年	24	6,420,354	69,593,857	24	6,552,423	74,325,506	27	9,022,523	101,435,197	30	9,466,520	105,122,740	31	9,924,988	106,418,076	31	9,639,028	103,355,807	34	9,832,222	102,519,658	35
同 四十二年	36	10,064,181	74,822,676	36	9,402,212	72,249,836	35	9,037,871	75,675,421	35	8,084,962	75,833,684	35	8,316,754	81,789,719	41	8,198,240	85,409,421	41	7,791,134	83,939,777	41
同 四十三年	41	8,461,327	69,404,352	41	8,091,738	72,997,938	41	8,806,855	75,986,997	41	9,746,013	81,858,060	46	9,415,841	94,733,321	49	10,281,770	98,597,109	49	9,652,554	96,615,727	49
同 四十四年	50	8,913,989	89,938,069	49	8,493,703	96,303,610	49	8,419,078	99,384,975	49	9,160,155	106,710,396	49	9,692,854	116,076,566	49	10,169,595	125,007,019	49	10,199,651	129,611,974	49
同 四十五年 大 正 元 年	50	9,243,612	75,210,545	50	9,178,648	77,193,027	50	9,011,497	84,774,588	50	9,263,626	105,142,066	50	9,116,294	117,844,444	50	8,530,817	122,390,550	51	8,120,181	121,794,736	51
同 二 年	51	8,858,872	99,682,236	51	8,981,314	106,165,062	51	9,016,180	118,414,068	51	9,424,884	127,302,193	51	9,812,840	141,364,190	51	9,507,468	145,825,397	51	9,725,839	150,914,883	50
同 三 年	51	15,032,961	129,714,383	51	14,904,258	130,561,213	51	14,950,116	141,084,661	50	15,959,559	148,897,688	50	17,400,065	149,325,666	50	16,212,018	154,093,714	49	17,042,343	155,188,684	49
同 四 年	75	16,257,187	125,689,593	76	16,177,713	128,737,521	76	14,432,665	135,034,430	76	13,832,955	144,180,715	76	13,924,422	154,931,188	75	13,698,393	161,525,777	77	13,452,437	164,062,297	77
同 五 年	77	16,124,251	169,325,130	77	16,632,966	188,412,390	77	16,664,926	208,143,554	77	17,194,004	227,274,237	77	17,589,885	248,664,369	77	17,370,274	264,738,815	77	16,305,969	267,678,445	77
同 六 年	72	16,685,755	296,497,929	72	16,602,730	303,933,695	72	15,391,345	371,127,096	72	15,193,096	313,818,099	72	15,198,429	319,010,484	72	15,633,486	357,596,730	73	15,350,018	384,370,353	73
同 七 年	74	18,809,623	472,683,342	75	17,769,280	497,395,190	75	17,819,808	510,013,288	75	17,624,159	509,702,929	75	17,040,365	551,222,866	75	16,246,536	544,568,112	74	18,193,192	530,290,249	74
同 八 年	75	23,082,386	536,850,721	75	22,413,095	552,496,544	75	23,006,812	570,700,923	75	22,546,378	599,246,544	75	20,714,352	620,300,992	75	20,086,956	646,424,364	75	19,278,734	663,840,240	78
同 九 年	79	27,843,605	764,468,864	78	27,513,896	824,094,918	80	27,606,113	924,660,199	79	29,508,542	1,081,676,622	79	30,344,230	1,265,296,075	80	31,334,443	1,276,204,661	80	30,849,258	1,285,286,398	81
同 十 年	80	32,884,405	779,362,149	80	29,621,822	713,783,437	80	27,177,015	639,151,344	81	24,135,776	593,753,491	81	21,764,946	551,812,157	81	20,540,310	545,471,006	81	20,539,036	529,747,713	81
同 十 一 年	86	27,782,131	561,729,406	85	27,933,506	562,825,883	86	27,885,889	576,841,942	87	27,747,944	597,207,432	94	27,153,090	591,928,532	96	23,999,435	556,820,078	96	23,599,953	539,594,257	96
同 十 二 年	96	21,501,291	398,721,556	96	20,344,231	394,154,746	99	21,193,007	418,972,957	100	22,228,919	446,579,475	100	22,963,313	477,970,083	105	23,226,604	506,051,848	103	23,113,898	506,467,681	102
同 十 三 年	101	18,045,915	462,707,844	101	18,879,295	503,246,296	101	21,949,140	551,989,411	101	23,371,160	555,294,138	102	23,559,679	552,662,181	102	22,863,421	558,058,340	102	22,719,100	564,325,021	101
同 十 四 年	99	20,529,096	517,291,706	99	21,154,199	538,140,506	100	22,790,633	613,599,159	100	22,525,493	638,407,262	101	20,936,448	620,779,505	99	18,431,510	604,598,864	101	16,882,732	609,960,199	101
同 十 五 年	101	15,673,420	500,231,833	101	16,236,561	499,094,341	98	17,601,598	511,643,571	97	18,210,103	529,058,933	97	17,626,467	514,074,643	97	16,441,360	515,483,443	99	15,819,750	529,700,733	99
昭 和 二 年	99	13,689,689	459,750,223	99	18,470,367	452,002,104	99	19,744,441	476,561,578	99	20,681,509	529,786,710	99	20,741,794	541,671,083	98	18,869,642	545,386,747	99	18,456,397	551,487,231	98
同 三 年	99	22,727,165	525,188,567	99	23,288,583	510,241,521	99	22,356,583	519,427,763	100	21,056,735	522,815,683	100	19,983,913	521,175,109	100	18,467,785	519,851,324	100	17,539,765	516,836,191	100

▽ 巖松堂書店發兌目錄 △

小林 行昌	訂再倉	庫	論	定價 三・五〇	送料 一八
辻岡喜代次郎	倉	庫	證券論	四・〇〇	一八
井上龜五郎	農業倉庫の經營			五・五〇	二四
小林 行昌	訂增稅	關	論	三・八〇	一八
太田 正孝	關稅	行政	論	七・〇〇	二四

64
167

終